

FULL * HALF HALF HALF HALF HALF HALF EE
FULL FULL FULL FULL FULL FULL FULL FULL EE
HALF HALF HALF * FULL FULL FULL FULL EE
HALF HALF HALF HALF HALF HALF HALF HALF EE
* HALF HALF HALF HALF HALF HALF HALF
FULL FULL * HALF HALF HALF HALF HALF EE

コニカ オートレス使用説明書

目次

使い方のたいせつなところ	3	レンズの交換	21
各部分のなまえ	5	EE機構をはずして使うときには	21
水銀電池を入れてください	8	セルフタイマーの使い方	22
電源のチェック	8	フラッシュ撮影のやり方	23
巻上げレバーとフィルムカウンター	9	フィルターを使用するときは	24
フィルムの入れ方	10	B (バルブ) 露出について	24
EE撮影のやり方	13	シャッターと絞りについて	25
適正露出範囲と警告マーク	14	被写界深度について	26
絞りを先に決めたいときは	15	マニュアル絞り	27
オーバーライドボタン	15	赤外補正マーク/距離基準マーク	27
メーター連動範囲一らん表	16	コニカオートレックス用	
画面サイズの切替え	17	ヘキサノン交換レンズ群	28
ピントの合わせ方とファインダーの見方	18	コニカオートレックスのアクセサリ	30
カメラはしっかり構えて	19	コニカオートレックスのおもな性能	34
フィルムの巻戻し方	20	コニカカメラサービス・ステーション	35

使い方のたいせつなところ



- 1 コニカオートレックスのメーターは水銀電池を電源として働きます。付属の水銀電池を電池室に入れてください。
- 2 EE撮影をおこなうにはフィルム感度目盛（ASA）を合わせ、絞りリングをEEマークに合わせてください。
- 3 シャッター速度を決めメータースイッチを入れ、ファインダーで被写体を見て、視野内メーターの指針が適正露出範囲（使用レンズの絞り目盛の範囲）にあれば正しい露出が得られます。

画面サイズ切替えのご注意

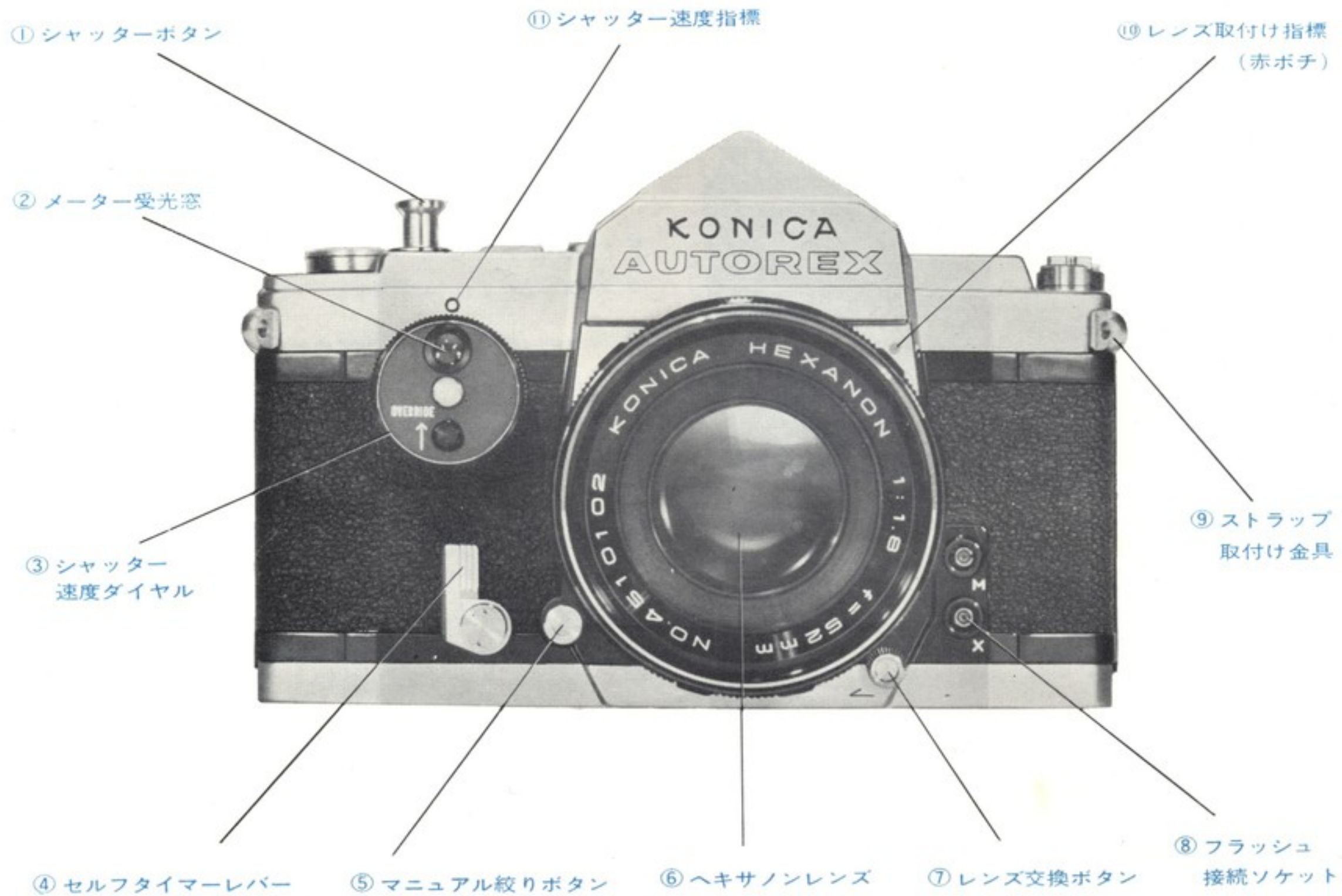
一本のフィルムの途中で画面サイズの切替えはおすすめしませんが、どうしても撮影途中でフルサイズ・ハーフサイズの切替えが必要になったときは、次の順序でおこなってください。

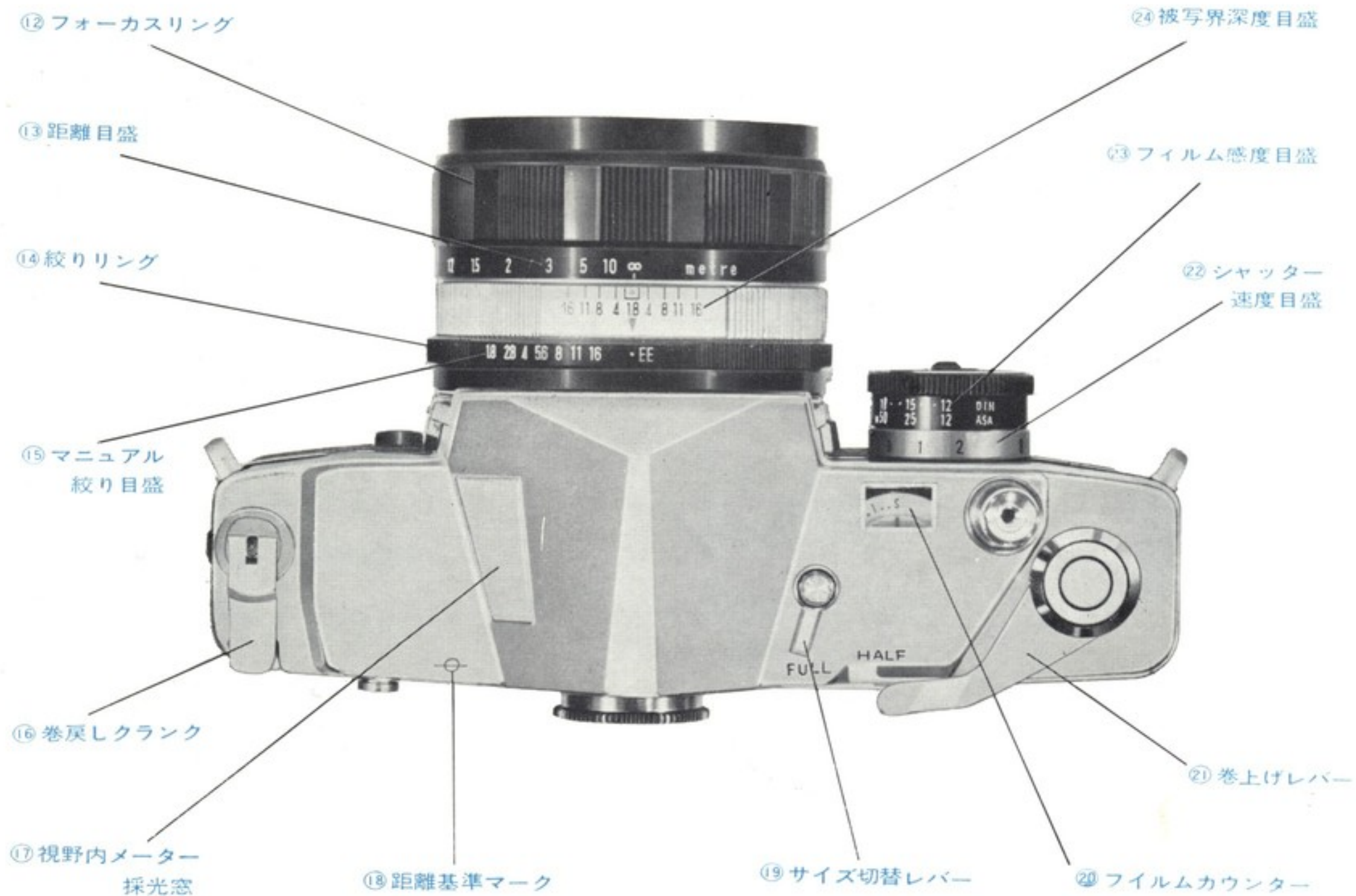
フルサイズからハーフサイズ：

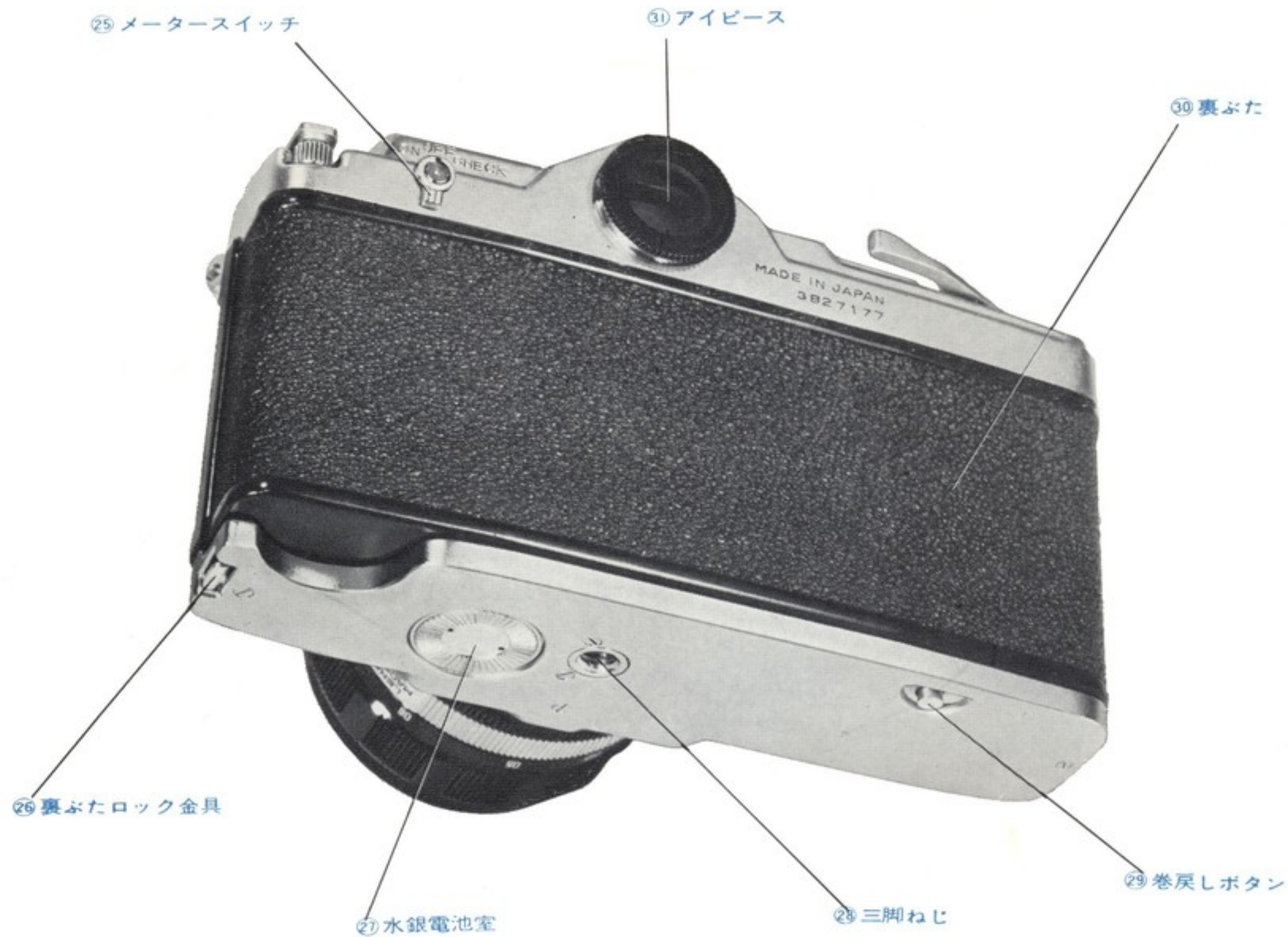
フィルムを巻上げてからレバーを切替えてください。

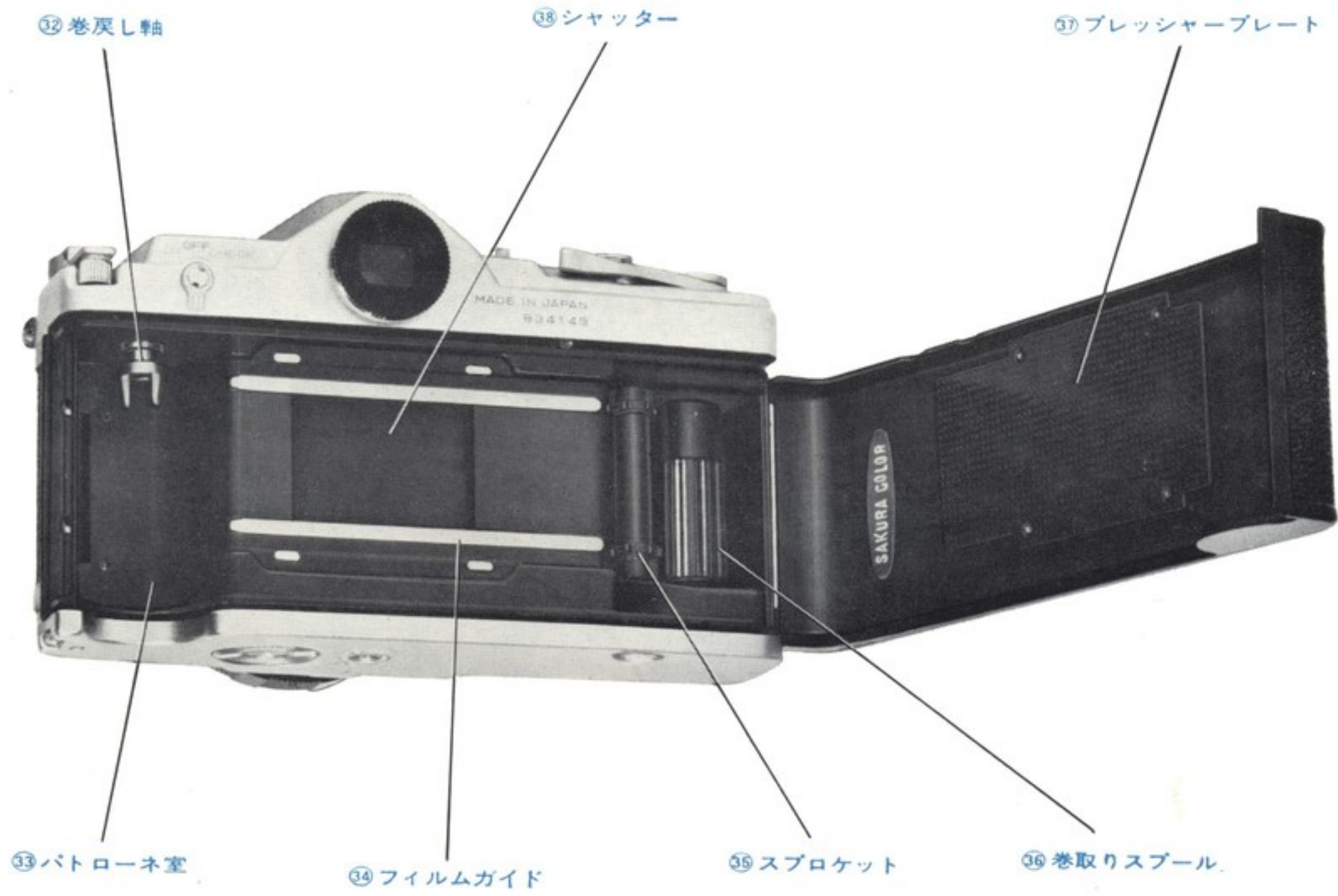
ハーフサイズからフルサイズ：

レバーを切替えてからフィルムを巻上げてください。





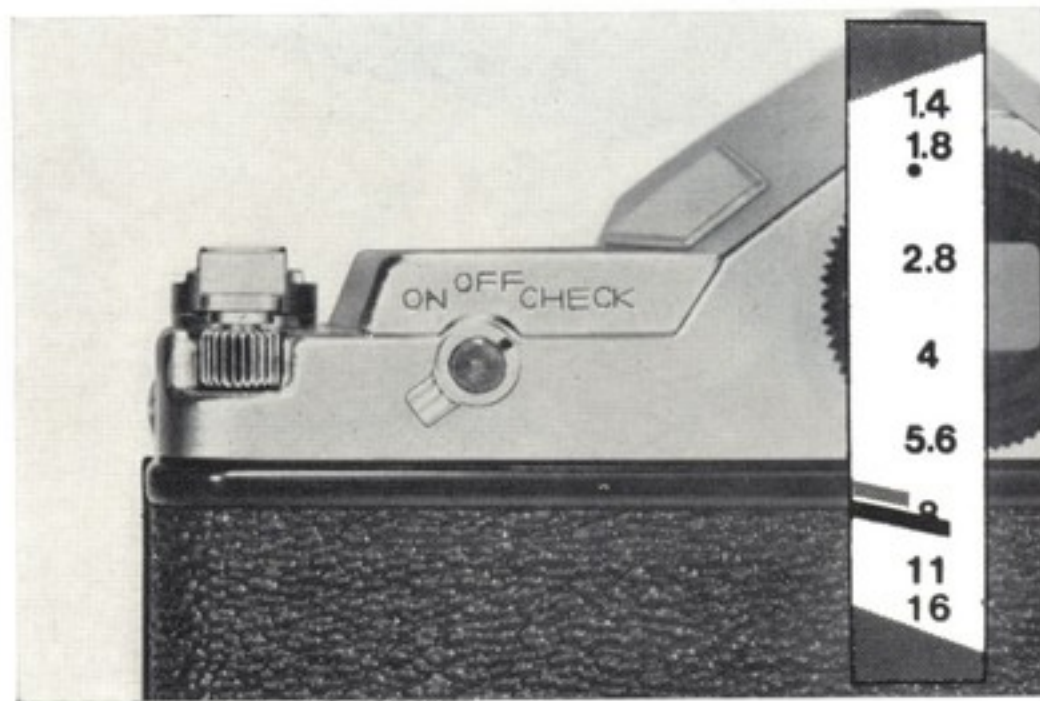
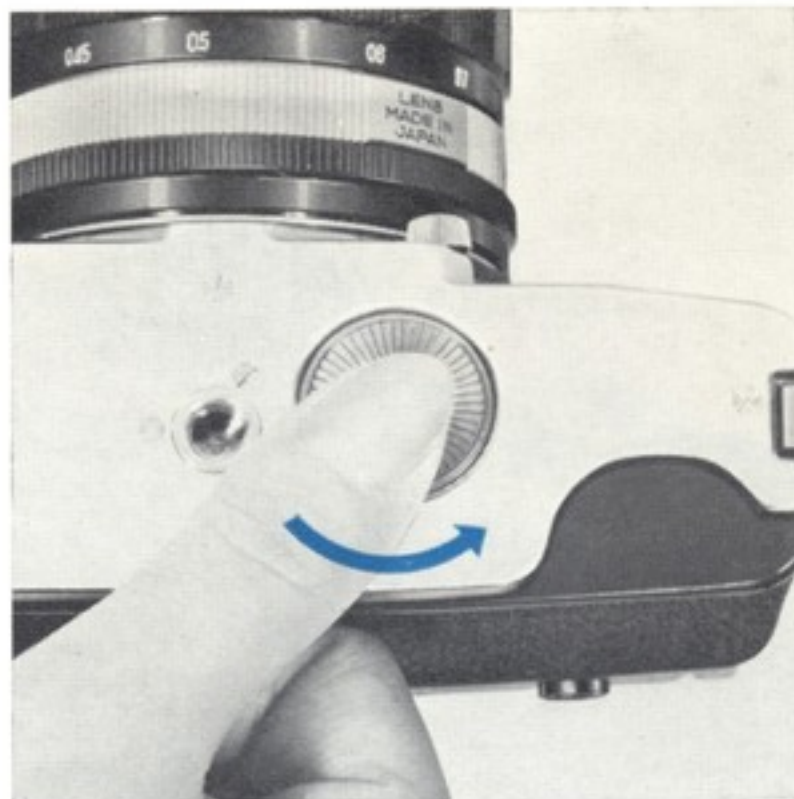




水銀電池を入れてください

コニカオートレックスのCdSメーターは水銀電池を電源として働きます。付属の水銀電池の表面を乾燥した清潔な布でよく拭いてから、カメラの水銀電池室に入れてください。

- 1 カメラの水銀電池室⑳のふたを左に回してはずします。
- 2 水銀電池の+側をふたの+側と合うように入れて、ふたをねじ込みます。



電源のチェック

メータースイッチ⑳をCHECKにすると、ファインダー視野内メーターの指針㉑が振れ、電池がじゅうぶんあればチェックマーク㉒のところか行き過ぎた位置で指針が止まります。

水銀電池の取り扱いについて

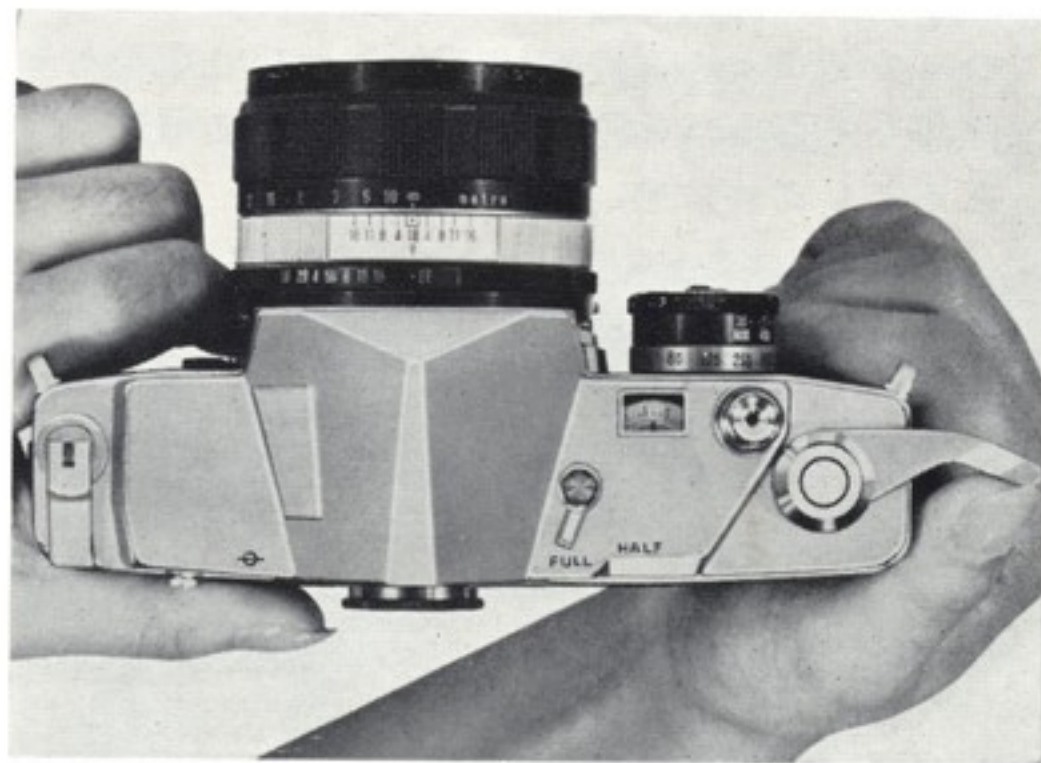
- *水銀電池は普通のご使用ならば一年以上は十分もちます。
- *電池が消耗し、指針の振れがマークに達しない場合は、新しい水銀電池と取り替えてください。

巻上げレバーとフィルムカウンター

- *巻上げレバー⑳を止まるまで回すと、フィルムが一枚巻上げられ、同時にシャッターチャージ、ミラー、自動絞りがセットされます。
- *フィルムカウンター㉑は、巻上げレバーを操作するごとに一目盛——ハーフサイズでは二枚ごとに一目盛——進み、撮影枚数を示します。そして裏ぶたを開くと自動的にスタートマーク(S)に戻ります。
- *撮影途中でたびたび画面サイズを切替えた場合には、フルサイズの1/4のむだ加算されフィルムカウンターと実際の撮影枚数が合わなくなります。

- *水銀電池は1.3V ナショナルMD型・東芝TH-MC型などを使用します。
- *カメラを長期間ご使用にならないときは、水銀電池を取り出し、湿気の少ないところに保存してください。

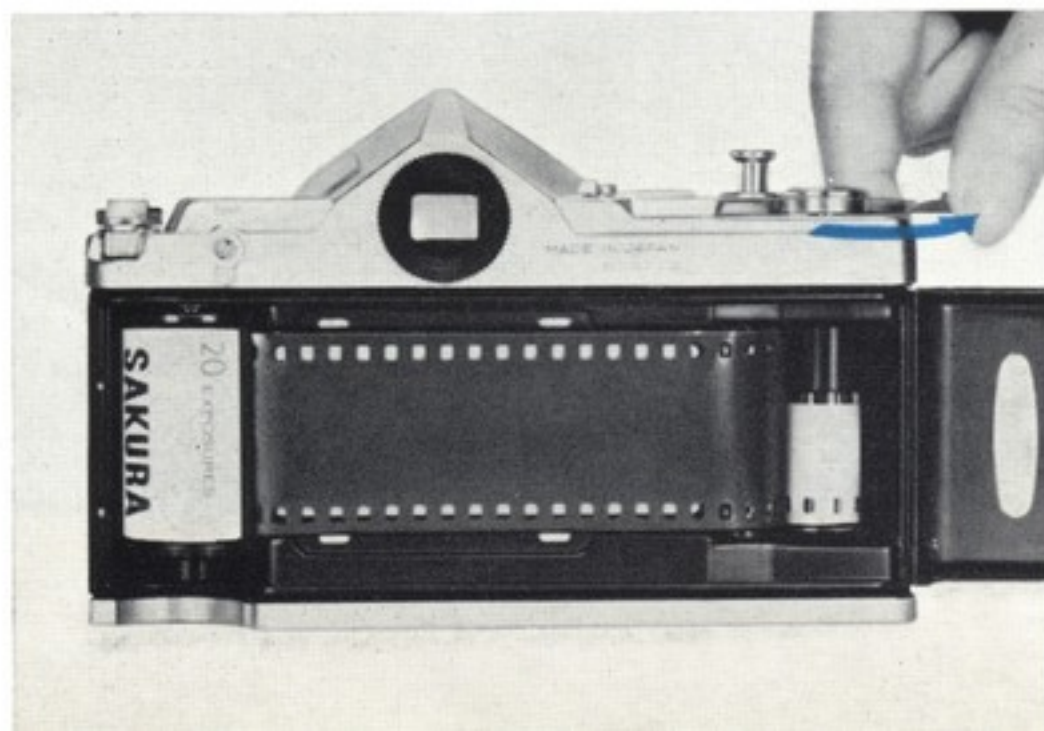
巻上げレバーは止まるまで確実に操作してください。



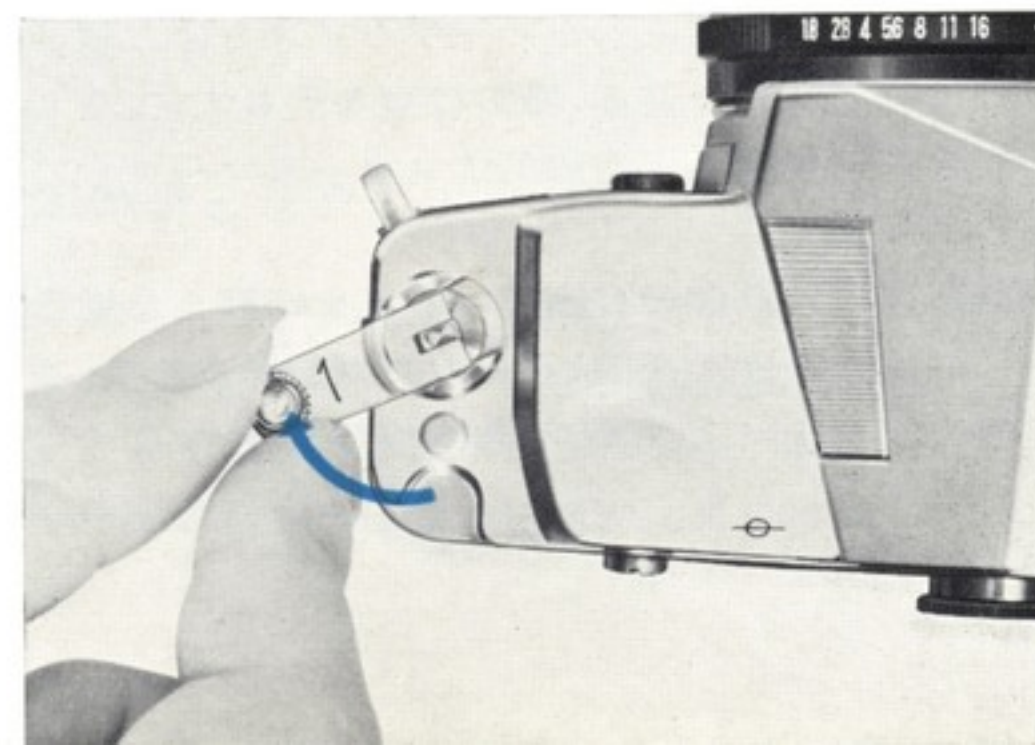
フィルムの入れ方

- * フィルムはパトローネ入り35ミリフィルムを使用します。
- * フィルムを入れるときは直射日光を避け、日陰でおこなってください。

- 4 巻上げレバー⑳を回してフィルムをスプールに巻きつけ、スプロケット㉔の歯がパーフォレーション（フィルムの穴）にかかっていることを確認して裏ぶたを閉じます。裏ぶたは指先で押えるとしまります。



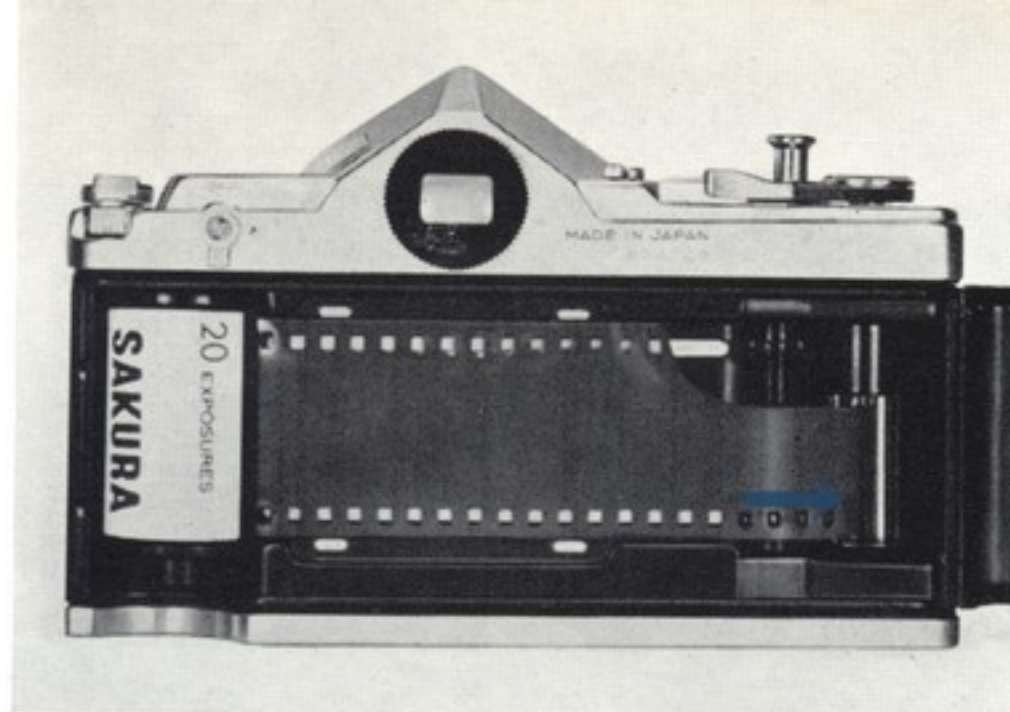
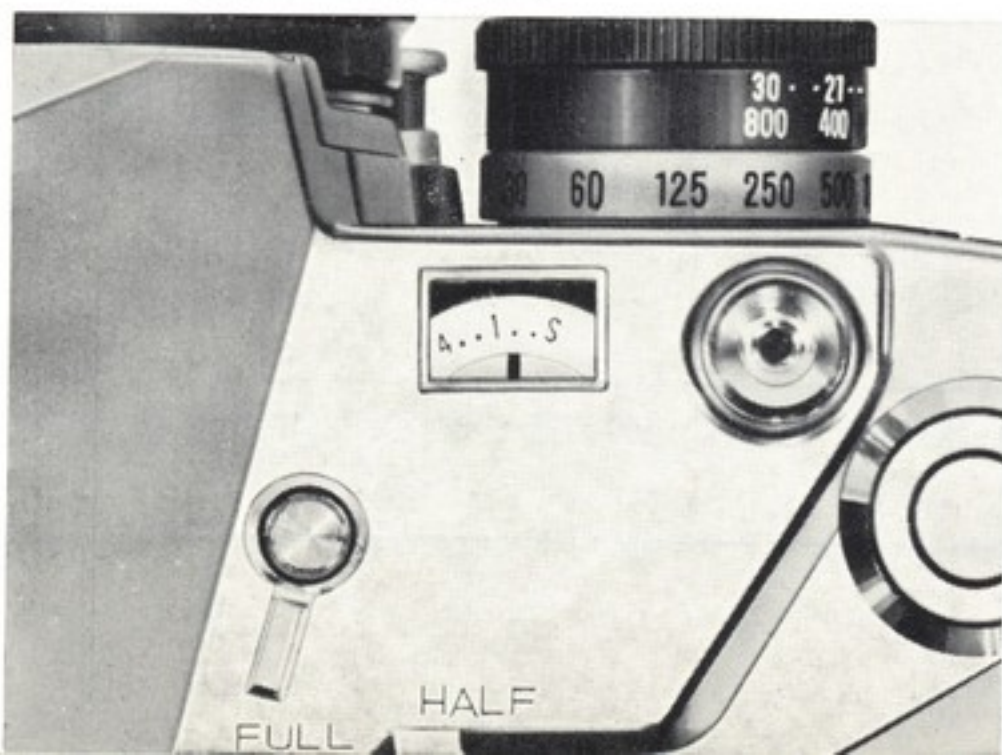
- 1 裏ぶたロック金具⑳を引いてカメラの裏ぶた㉔を開きます。
- 5 裏ぶたを閉じたら、巻戻しクランク㉔を起し、矢印の方向に静かに回し、パトローネ内のフィルムのゆるみをなくしておきます。





2 パトローネをパトローネ室③に入れます。

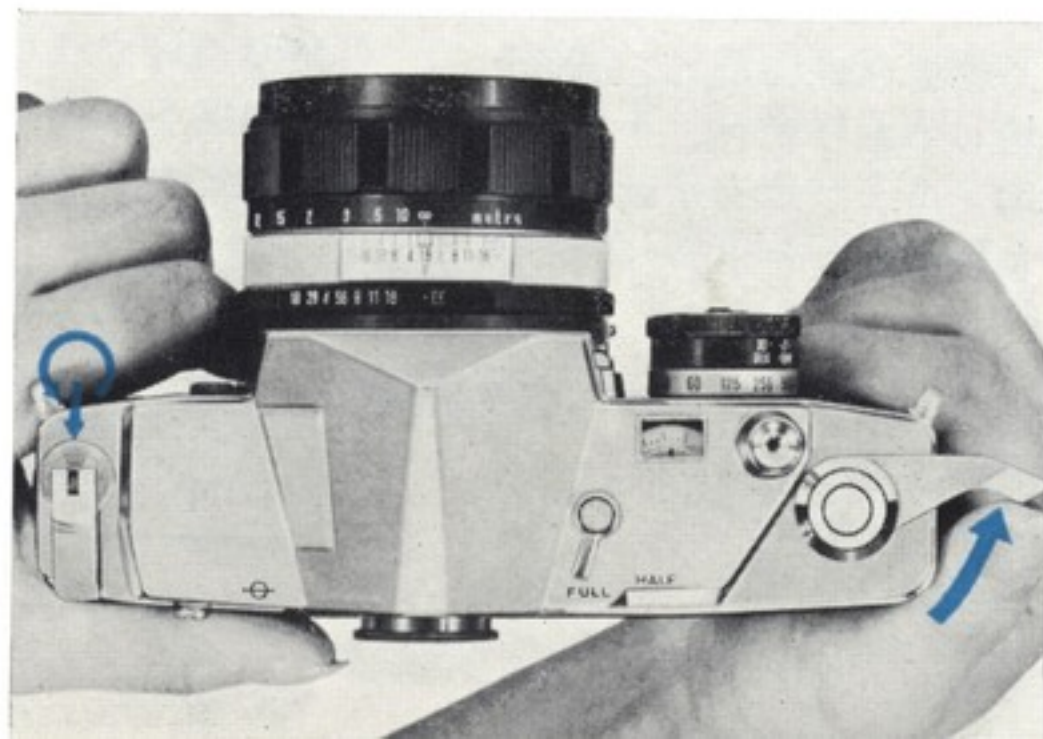
6 フィルムを巻上げシャッターボタン①を押し、カラ写しを二度（ハーフサイズでは四度）おこなってください。これでフィルムカウンター②は1の手前を指しています。次に巻上げると一枚目の撮影ができます。



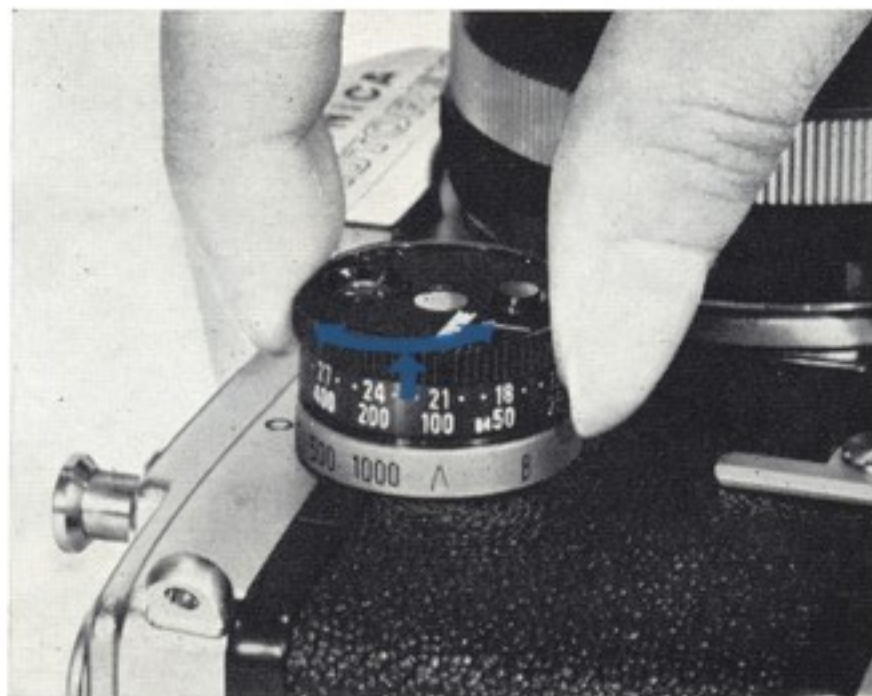
3 フィルムの先を巻取りスプール⑥の溝に差し込みます。どこでも入れやすい溝に差し込んで結構です。

フィルム巻上げ状態の確かめ方

フィルムが正しく巻上げられているときは、巻上げをおこなうごとに巻戻し軸の部分が回ります。もし回らなければ正しく巻上げられていないのですから、ご注意ください。



EE撮影のやり方



- * フィルムの感度 (ASA) はフィルムの外箱や使用書に書いてあります。
- * フィルム感度は正しく合わせてください。まちがえて合わせると適正露出が得られませんからご注意ください。
- * フィルム感度目盛はASAとDINが並べて記してあります。
- * ASA・DINとはフィルムが光に感じる度合を示す単位です。

1

フィルム感度 (ASA) 目盛 ⑬ を合わせます。

シャッター速度ダイヤル ③ の外側を持ち上げて回し、使用フィルムの感度目盛を指標 (▲赤印) に合わせておきます。

2

絞りリング ⑭ の EE マークを指標に合わせます。

絞りリングを回して EE マークの ● を指標に合わせてください。この位置にクリックがあり確実に固定されます。

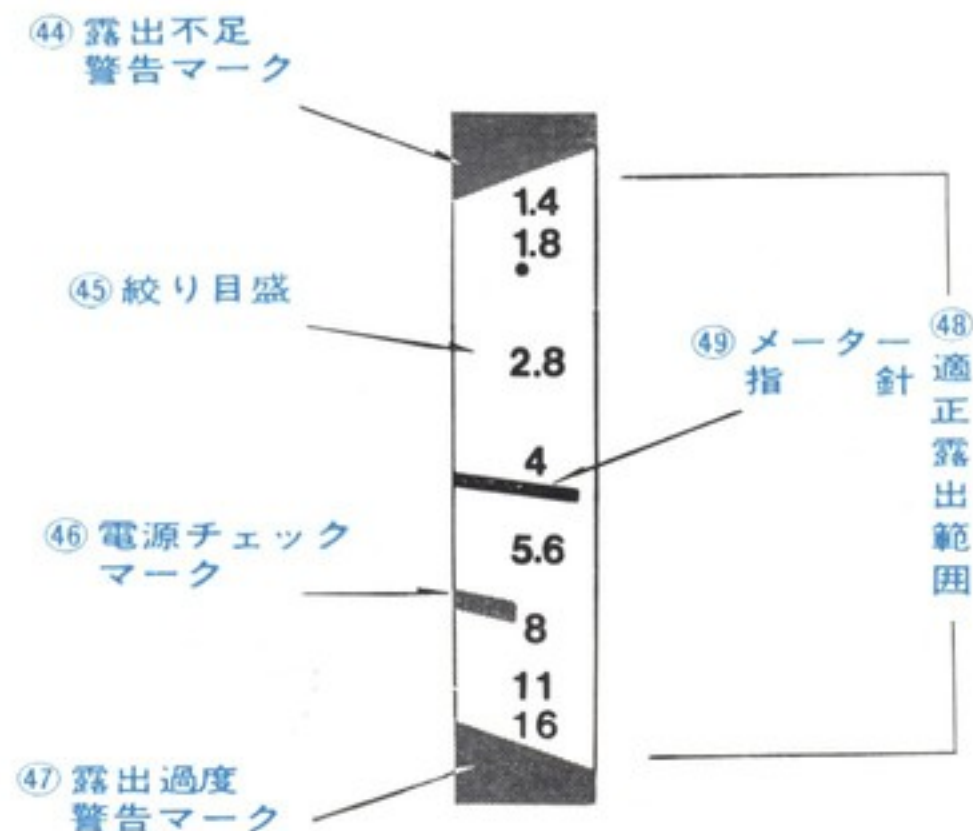
フィルム感度目盛

ASA	12	(16)	(20)	25	(32)	(40)	50	64	(80)	100	(125)	(160)	200	(250)	(320)	400	(500)	(640)	800
DIN	12	•	•	15	•	•	18	•	•	21	•	•	24	•	•	27	•	•	30

適正露出範囲と警告マーク

メーター指針④が適正露出範囲（使用レンズの絞り目盛の範囲）にあればEE撮影ができることを示しています。そして指針はそのときに働く絞り目盛を指しています。視野内メーターの両端にある赤色の部分がF1.4レンズの警告マークで、F1.4レンズを使用して指針がこのマークにかかったときは適正露出が得られません。

*露出不足側の警告マークは使用レンズの明るさにより異なりますのでF1.8レンズ付および各交換レンズ使用の際はご注意ください。



*適正露出範囲は使用レンズの明るさによって異なりますからご注意ください。レンズの開放F値より指針がはずれていると露出不足になります。露出不足側の警告マークを次のように覚えてください。

警告マーク 使用レンズ	露出不足警告マーク	この間が適正露出範囲です	露出過度警告マーク
F 1.4	上側(1.4側)赤マーク	各レンズとも 下側(16側)の赤マーク	
F 1.8	1.8の文字の上端		
F 2.8	2.8の文字の上端		
F 3.5	2.8と4の間		
F 4.5	4と5.6の間		

***メーター指針が露出不足を示したときは**

——シャッター速度を遅いほうに変えてください。そして指針が適正露出範囲に入ればEE撮影ができます。シャッター速度ダイヤルをいっぱいにも回しても、指針が適正露出範囲に来ないときは極端に暗すぎてEE撮影ができません。

***メーター指針が露出過度を示したときは**

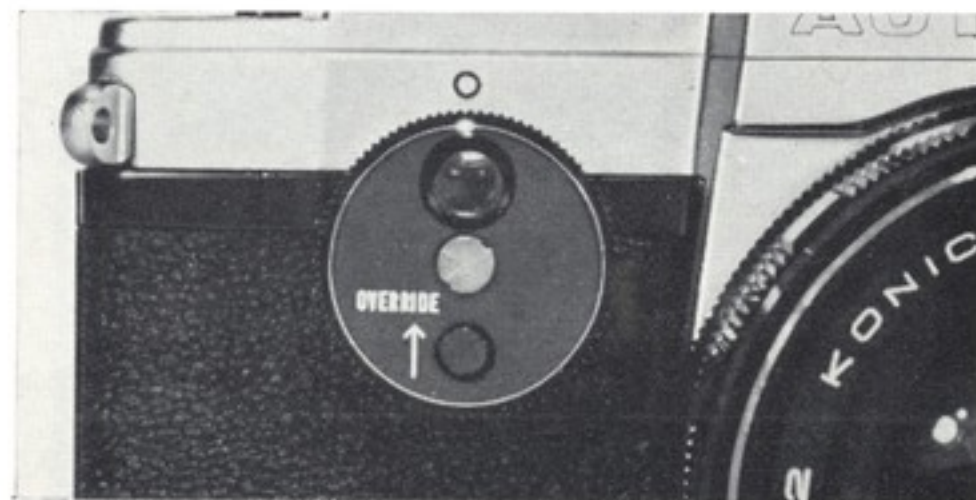
——シャッター速度を速いほうに変えてください。

絞りを先に決めたいときは

撮影目的によって絞りを先に決めたいときは、視野内メーターを見ながらメーター受光窓を指先でふさがないように注意してシャッター速度ダイヤルを回し、希望の絞り目盛にメーター指針を合わせます。シャッター速度は必ずクリック位置で使用してください。

オーバーライドボタン

連動範囲外にかかるときはシャッター速度ダイヤルがストップして回せません。EE撮影の場合のほか、このストップを越えてシャッター速度を合わせたいときは、OVERRIDEボタンを押し上げながらシャッター速度ダイヤルを回してください。



コニカオートレックス・
メーター連動範囲一らん表

コニカオートレックスのメーターはフィルム感度がASA100のとき、EV2 (F1.4 1/2秒) からEV18 (F16 1/1000秒) まで連動します。

フィルム感度と連動しない範囲は次のとおりです。

ASA500~800で1秒~1/8秒・ASA250~400で1秒~1/4秒・ASA125~200で1秒および1/2秒・ASA64~100で1秒・ASA25~40で1/100秒・ASA12~20で1/500秒と1/1000秒。

表の太線で囲んだ内側がメーター連動範囲、外側が連動しない範囲です。

ASA	12	25	50	100	200	400	800
							B
						B	1
					B	1	2
				B	1	2	4
			B	1	2	4	8
		B	1	2	4	8	15
B	1	2	4	8	15	30	60
1	2	4	8	15	30	60	125
2	4	8	15	30	60	125	250
4	8	15	30	60	125	250	500
8	15	30	60	125	250	500	1000
15	30	60	125	250	500	1000	
30	60	125	250	500	1000		
60	125	250	500	1000			
125	250	500	1000				
250	500	1000					
500	1000						
1000							

画面サイズの切替え

カメラ上面のサイズ切替レバー⑬によってフルサイズ（24×36ミリ判）・ハーフサイズ（18×24ミリ判）のお好きな画面に切替えて撮影できます。

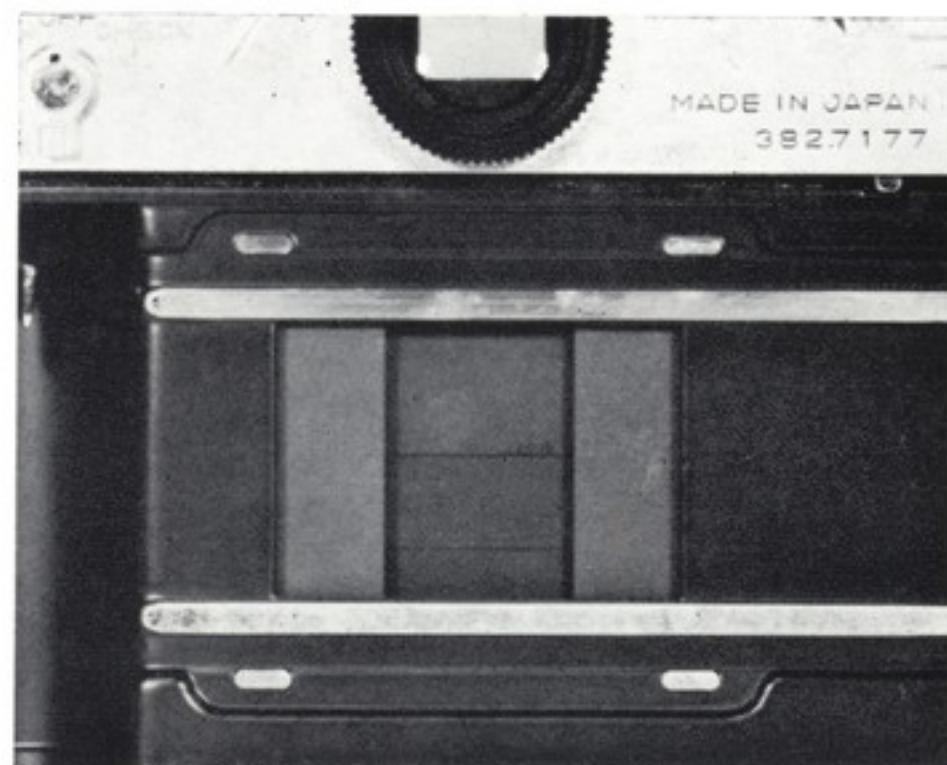
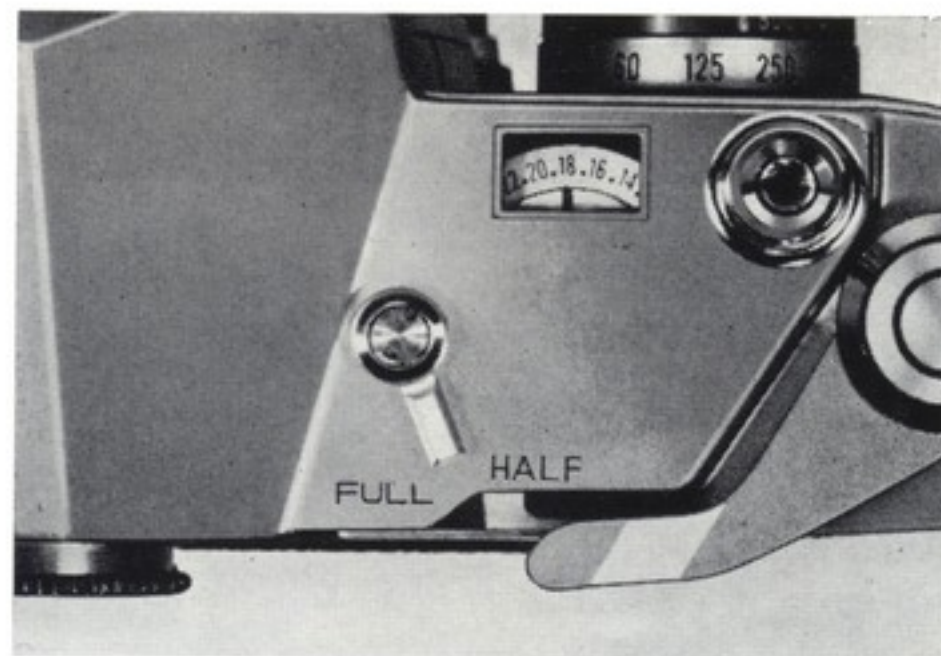
ただし、一本のフィルムの途中での画面サイズ切替えはおすすめしませんが、どうしても撮影途中で切替えが必要になったときは、次の順序で操作してください。

サイズ切替え \ 操作の順序	1	2
フルサイズからハーフサイズ FULL → HALF	フィルムを 巻上げて	レバーを 切替える
ハーフサイズからフルサイズ HALF → FULL	レバーを 切替えて	フィルムを 巻上げる

どちらに切替える場合もレバーをFULLに合わせた状態でフィルムを巻上げるように覚えてください。

この操作を誤りますと画面が重なる結果になりますので、ご注意ください。

- * サイズ切替レバーはクリックに固定される位置まで、いっばいに動かしてください。
- * ハーフサイズに切替えるとファインダー内にマーク⑬が現われハーフサイズであることを示します。



ピントの合わせ方とファインダーの見方



ピントが合っていない
とき



ピントが合ったとき

ピント合わせは、フォーカスリング⑫を回しファインダー中央のマイクロダイヤプリズム⑳でおこないます。ピントが合っていないときはマイクロダイヤプリズムの像がギザギザに見え、ピントが合ったときは像がハッキリし、同時に周囲のマット面㉑の像もハッキリ見えます。



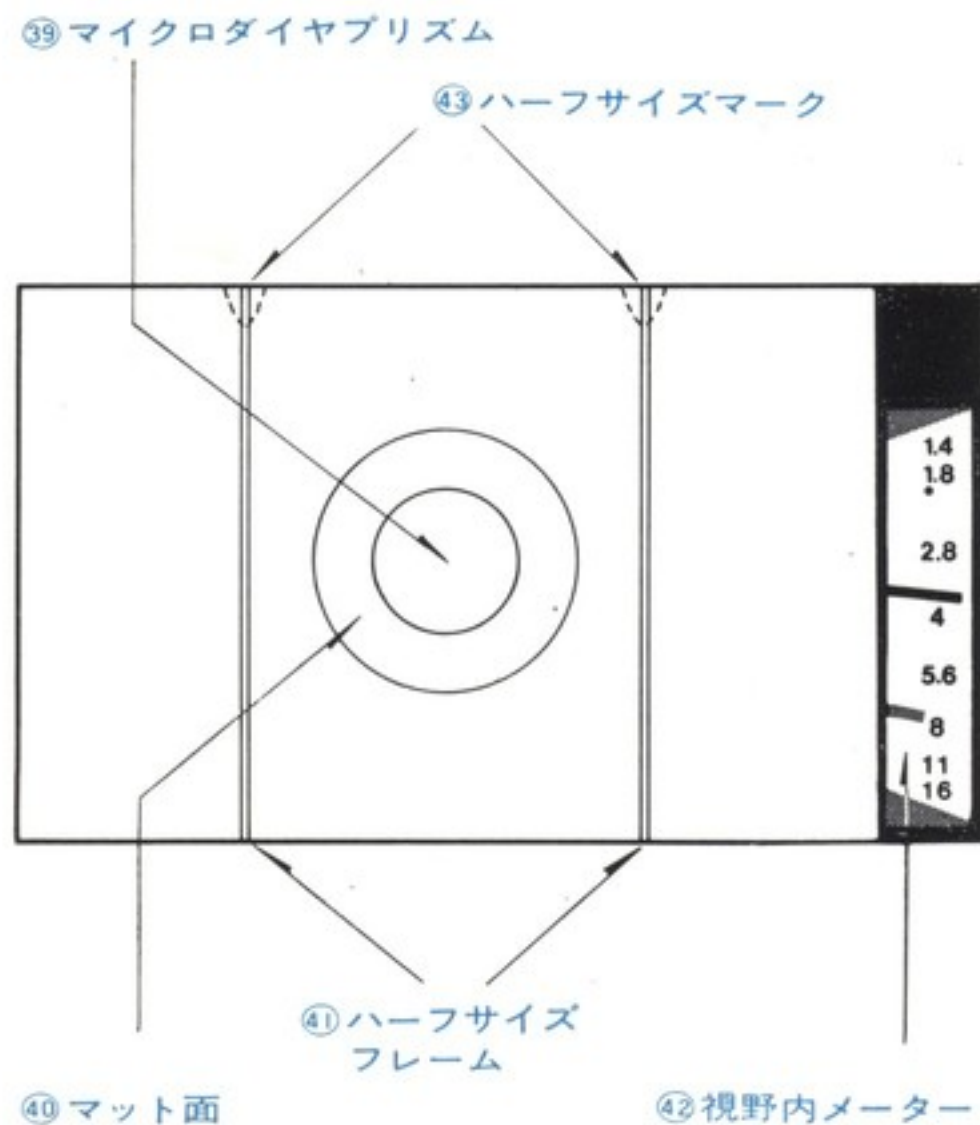
ファインダーは撮影レンズの映像がそのまま見られ、遠距離でも近距離でもレンズを交換した場合にも、ファインダーに見える像そのままだが撮影範囲になります。

*ハーフサイズ撮影の場合はハーフサイズフレーム内が撮影範囲になります。

カメラはしっかり構えて

よいピントの写真を撮るためには、シャッターボタンを押す際カメラぶれしないよう、確実に構えることがたいせつです。カメラを両手でしっかり持って、手、鼻、ひたいなどでうまく顔につけて安定させ、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。

1/8秒以下の低速度シャッターで写すときは、手持ち撮影ではカメラぶれますから、三脚を使用するか固定した台の上にカメラを安定させてください。

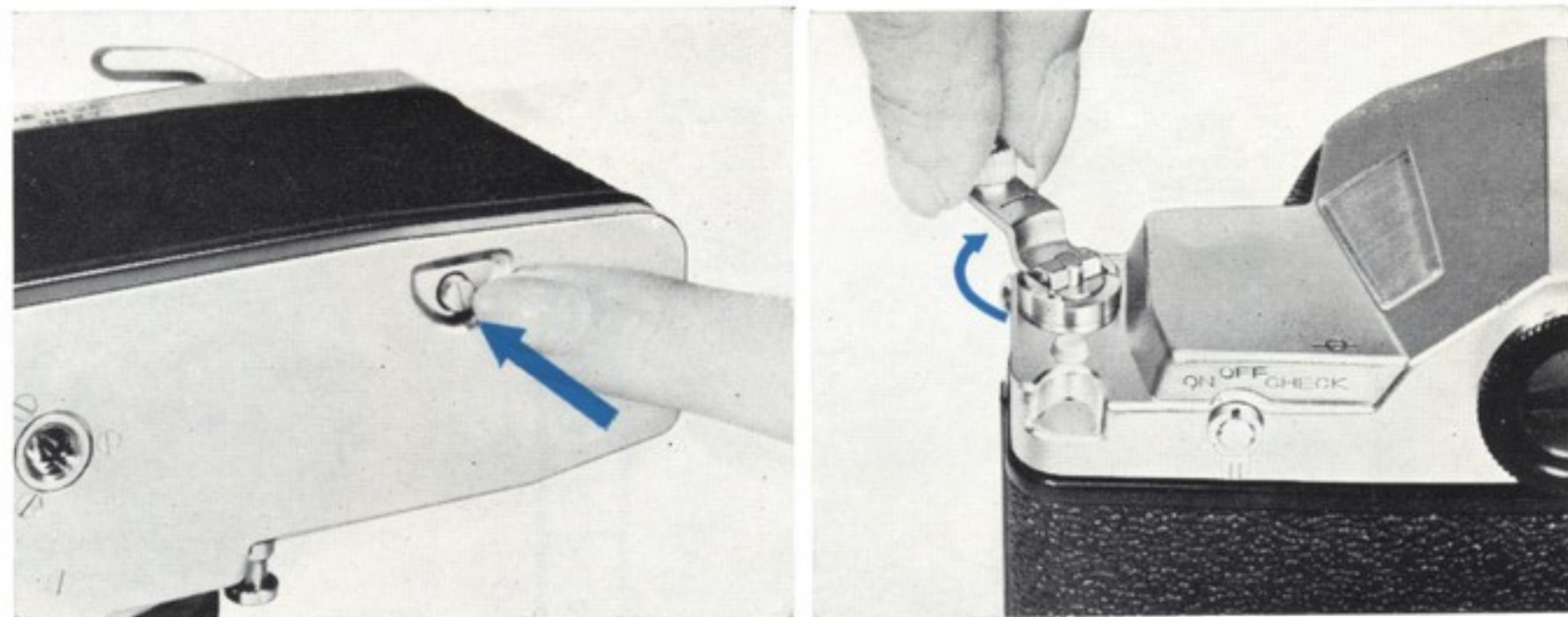


カメラを構えたとき、メーター受光窓を指先でふさがないようにご注意ください。



フィルムの巻戻し方

一本のフィルムの撮影が終わったら、フィルムを元のパトローネに巻戻してカメラより取出します。



- * カメラからパトローネを取出すときは、日陰でおこなってください。
- * ひっ込んだ巻戻しボタンは、次の巻上げによって元に戻ります。

- 1 巻戻しボタン⑳を押してください。ボタンは一度押せばひっ込んだままになります。
- 2 巻戻しクランク㉑を起して矢印の方向に回します。これでフィルムがパトローネに巻戻されます。
- 3 巻戻しの手ごたえが急に軽くなったとき巻戻し完了です。裏ぶたを開きパトローネを取出します。

レンズの交換

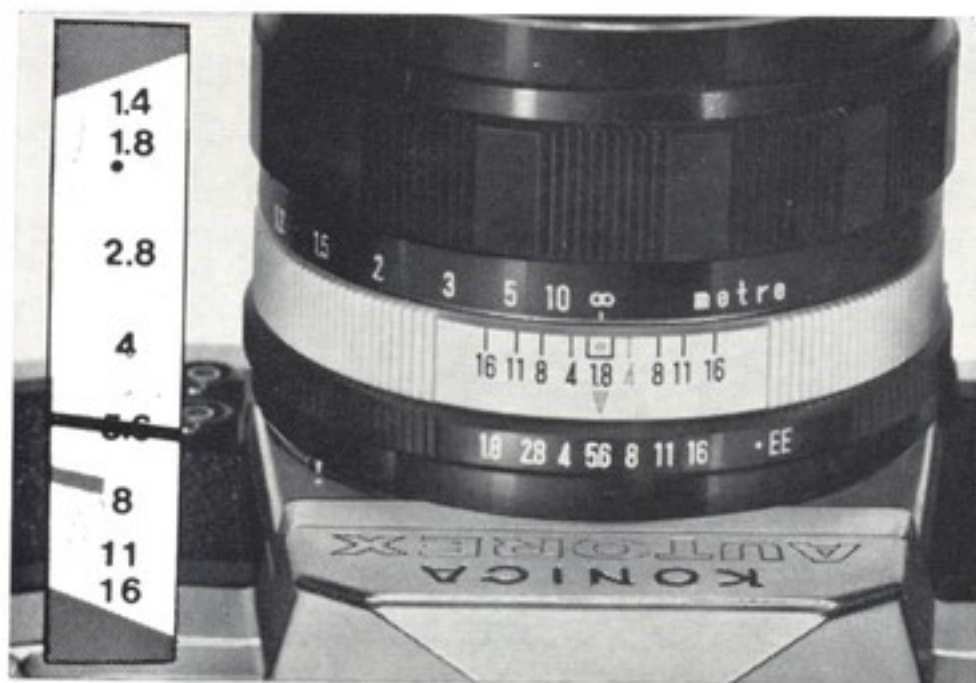
レンズを取りはずすには、レンズ交換ボタン⑦を矢印の方向に押しながら、レンズ外周の白い部分を持って左（反時計方向）に回し、レンズとボデーの赤ポチが合った位置で引き出します。

レンズを取付けるには、レンズとボデー両方の取付け指標（赤ポチ）を合わせて正しくはめ込み、レンズ外周の白い部分を持って右（時計方向）に止まるまで回すと取付きます。



EE機構をはずして使うときには

特別な目的で露出を加減して撮影したいときは、絞りリング⑭をEEからはずしてマニュアル絞り目盛⑮によって露出を決めます。このとき視野内メーター④はフィルム感度とシャッター速度に連動するメーターとして働き、適正絞り目盛を示します。これを読みとって絞りリング上のマニュアル絞り目盛を決めてください。



セルフタイマーの使い方

巻上げレバー②を操作してからセルフタイマーレバー④をいっぱいに回してセットし(この逆の順序でもよい)、シャッターボタン①を押すとセルフタイマーが働き、約9秒たってシャッターがきれます。

- * シャッターボタンを押すとき、カメラの前側は避けてください。前に立つとご自分の陰に対する露出になってしまいますから……。
- * セルフタイマーは記念撮影のほか、接写などのカメラぶれ防止に利用しても効果があります。
- * セルフタイマーレバーのセットを少なくして、シャッターがきれるまでの時間を短かくすることもできます。

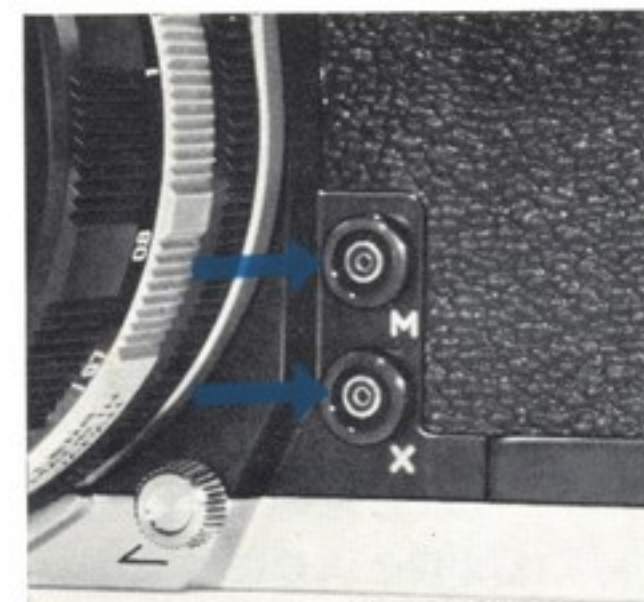
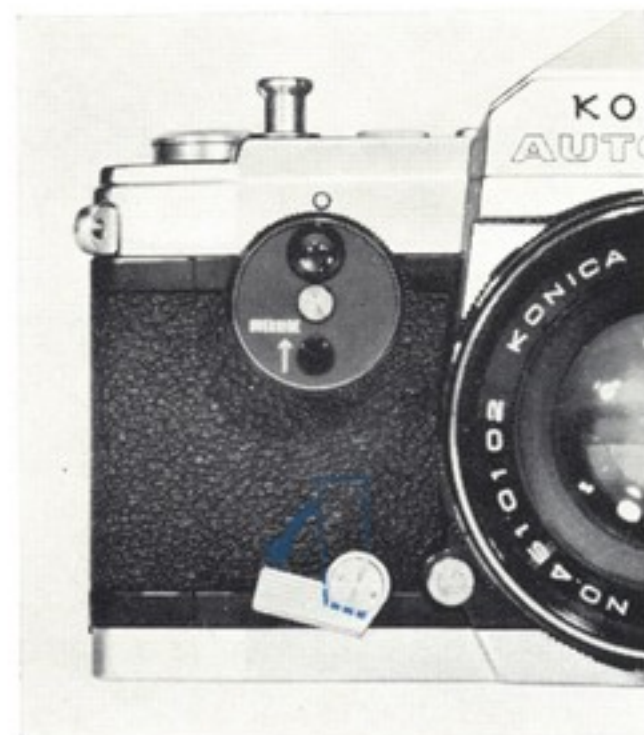
フラッシュ撮影のやり方

* フラッシュ撮影ではEEは使用できませんから、マニュアル絞り目盛によって露出を決めます。

* ポケットガンカメラに取付けるのに便利なアクセサリクリップが用意してあります。

M級フラッシュバルブを使用するときは、接続ソケット⑧のMに、

ストロボを使用するときはXに差し込んでください。





コニカオートレックス

フラッシュ同調表

コニカオートレックスのM接点はタイムラグを18ミリ秒に調整してあります。

フラッシュ撮影の露出の決め方

フラッシュ撮影は、フラッシュバルブの発光を光源として写すのですから、光源から被写体まで距離に応じて、マニュアル絞り目盛によって露出を決めます。

絞りはフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割って求めます。ガイドナンバーはフラッシュバルブの包装ケースに示されています。

$$\text{絞り目盛} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

また、フラッシュバルブの種類によっては、ガイドナンバーが表わしてないで被写体距離に応じた絞り目盛を直接示したものがあります。

接点	フラッシュバルブ	シャッター速度											
		1	2	4	8	15	30	60	125	250	500	1000	
M	M 級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FP 級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
X	ストロボ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	F 級	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×

○印……同調

×印……使用不可能

フィルターを使用するときは

フィルターはねじ径55ミリ、ピッチ0.75ミリのねじ込み式フィルターを使用します。フィルターを使用するときは、使用フィルターの露出倍数によって露出の調節が必要です。

フィルム感度目盛で調節するとEE撮影ができます。

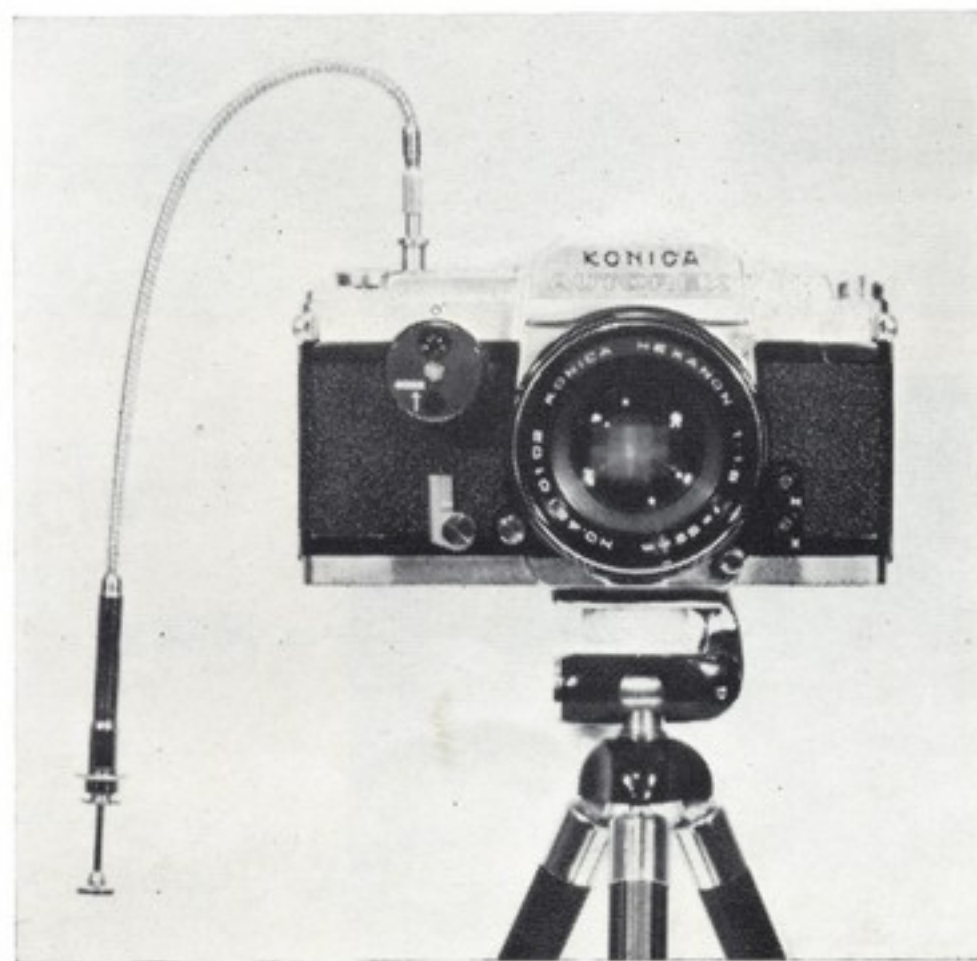
B (バルブ) 露出について

シャッター速度目盛をBに合わせてシャッターをきると、バルブ露出といって、シャッターボタンを押している間シャッターが開き、指を離すと閉じるので、1秒以上の長い露出の撮影に用います。

- * シャッター速度ダイヤルがBまで回らないときは、OVERRIDEボタンを押し上げながら回してください。
- * B露出はEEでは使用できませんから、絞りリングをEEからはずし、マニュアル絞り目盛を用います。
- * 三脚を使用するときは、カメラ底部の三脚ねじに取付けます。ケーブルリリースは特製の専用リリースのご使用をおすすめします。

使用フィルムの感度 (ASA) をフィルターの露出倍数で割った数値に、フィルム感度を合わせ直しておきます。

たとえば、ASA100のフィルムで露出倍数二倍のフィルターを使用するときは $\frac{\text{ASA100}}{2} = \text{ASA50}$ のフィルム感度に合わせておくとEE撮影ができます。



シャッターと絞りについて

シャッターの役目はフィルムに達する光量を時間的に調節することと被写体の動きを写し止めることです。シャッター速度ダイヤルにBおよび1～1000の数字が示してあり、1・2・4・8……1000の数字は、それぞれ1秒・1/2秒・1/4秒・1/8秒……1/1000秒のシャッター速度を表わしています。速度ダイヤルを回し数字を指標の位置に合わせると、その速度でシャッターがきれることとなります。色文字の125はストロボ同調の最高速度を示したものです。



絞りの役目はフィルムに達する光の量を面積で調節することと、ピントの合う範囲（被写界深度）を調節することです。コニカオートレックスはフィルム感度目盛（ASA）とシャッター速度を決めるとEE機構によって適正絞り値が自動的に決まり、その時の絞り値を視野内メーターの指針が示します。絞りは完全自動絞り機構ですから、シャッターをきった瞬間だけ適正絞り値に絞られ、直ちに自動的に開放に戻ります。



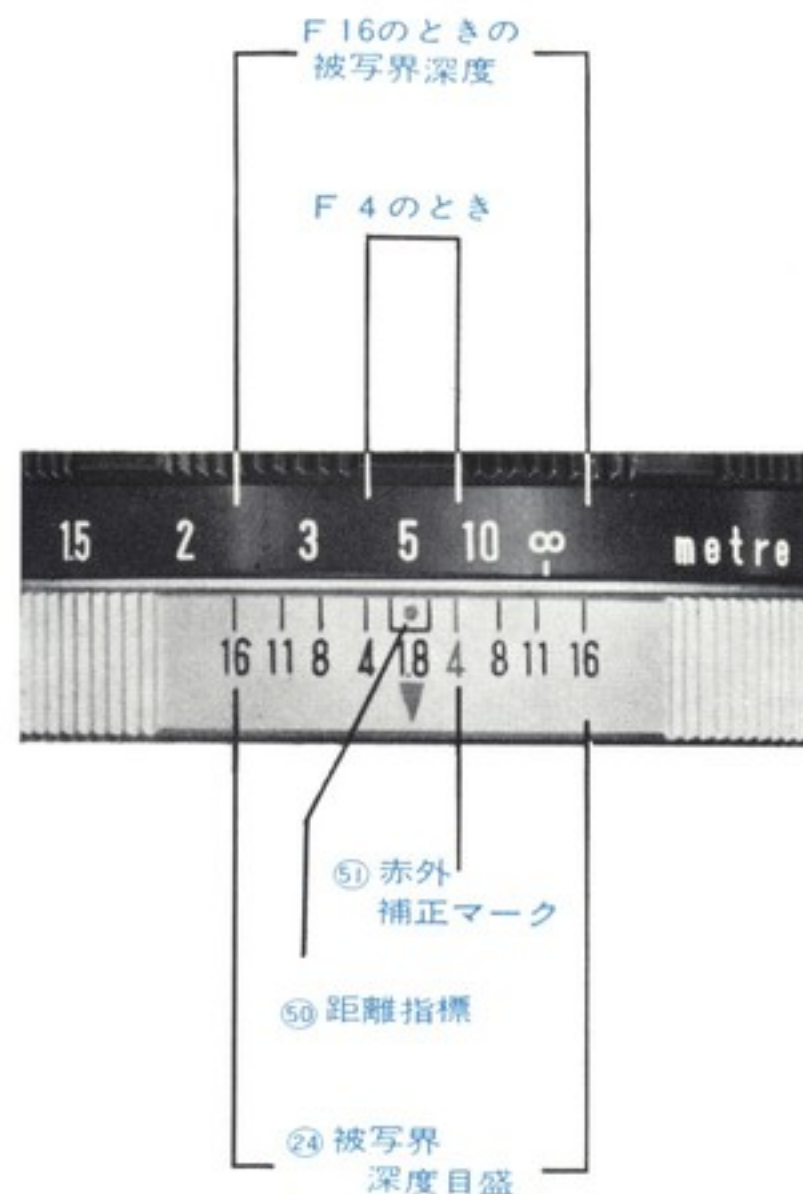
被写界深度について

ある距離の被写体にピントを合わせたとき、その前後にも十分ピントの合う範囲があります。これをレンズの被写界深度といいます。被写界深度目盛②④には距離指標⑤⑥を中心にして両側に絞りと同じ目盛がついています。ピントを合わせた後これを見ると、使用する絞り目盛に囲まれた範囲が被写界深度になります。

たとえば、ピントを合わせた被写体までの距離が5メートルであったとすると、F4のときには4メートルから7メートルまでが、F16にすると2.5メートルから∞（無限遠）までが被写界深度に入ることがわかります。

被写界深度は次のような性質をもっています。

- *絞りを小さく絞るほど深くなります。
- *近距離よりも遠距離にピントを合わせたときが深くなります。
- *ピントを合わせた被写体の前よりも後方が深くなります。
- *焦点距離の短いレンズほど深くなります。



マニュアル絞り

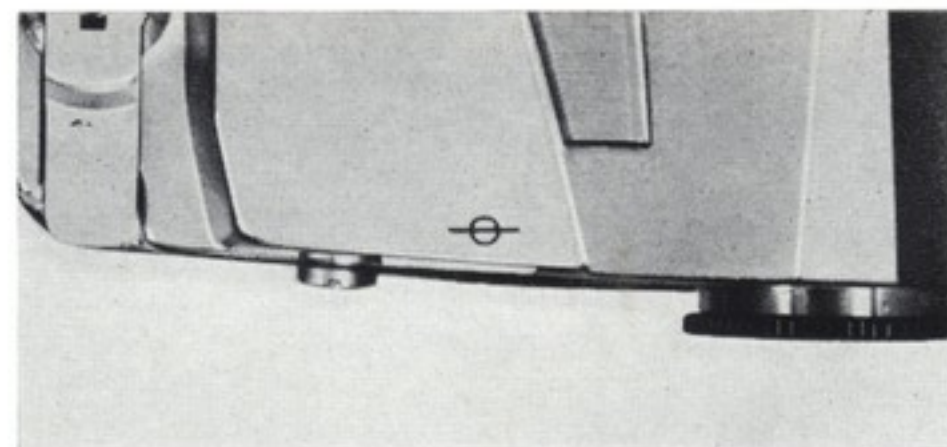
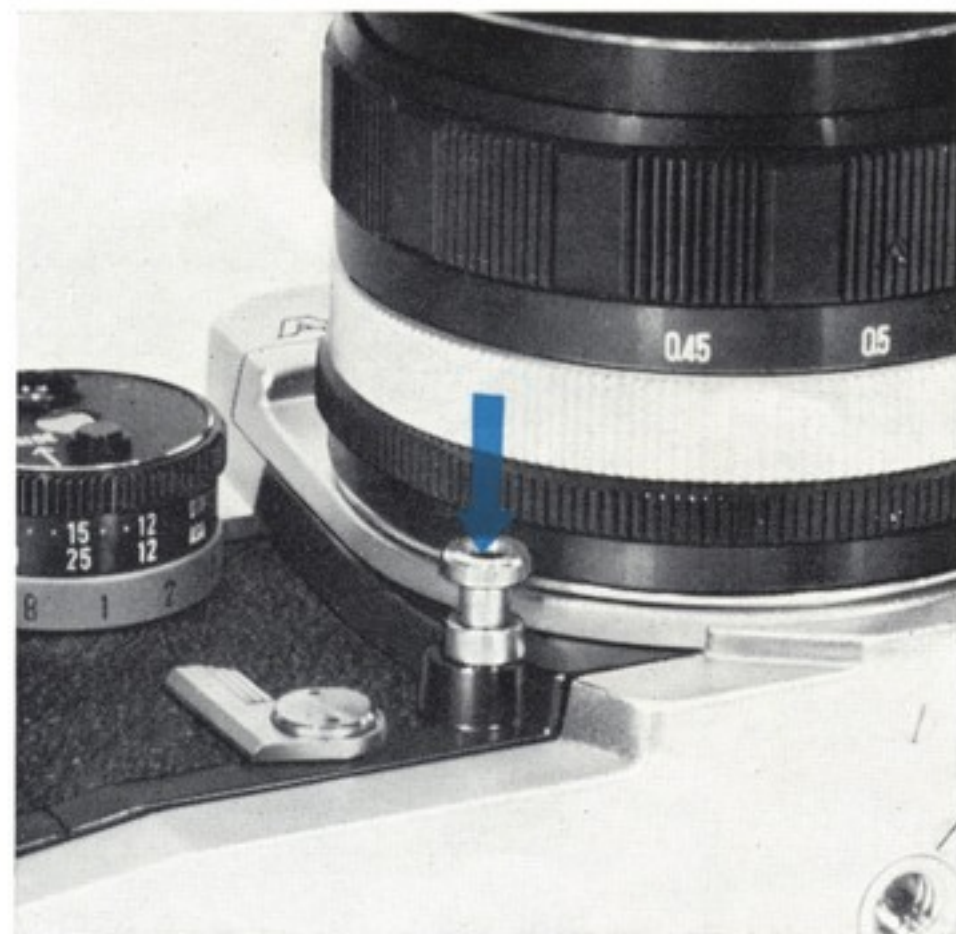
レンズは完全自動絞りですから常に開放絞りになっています。ピントの合う範囲をファインダーの中で確認したいときは、絞りリングをEEからはずしマニュアル絞り目盛⑬を決めて、マニュアル絞りボタン⑤を押しながらファインダーをのぞくとわかります。

赤外補正マーク

赤外フィルムにより赤色系フィルターを用いた赤外線写真撮影の場合には、普通にピントを合わせたのち、距離指標⑭で距離目盛を読み、その目盛を赤外補正マーク⑮（赤文字の4）の線までずらして撮影してください。

距離基準マーク

レンズの距離目盛はフィルム位置を示した距離基準マーク⑯からの距離が表示してあります。



コニカオートレックス用
ヘキサノン交換レンズ群



21mm



28mm



35mm



52mm

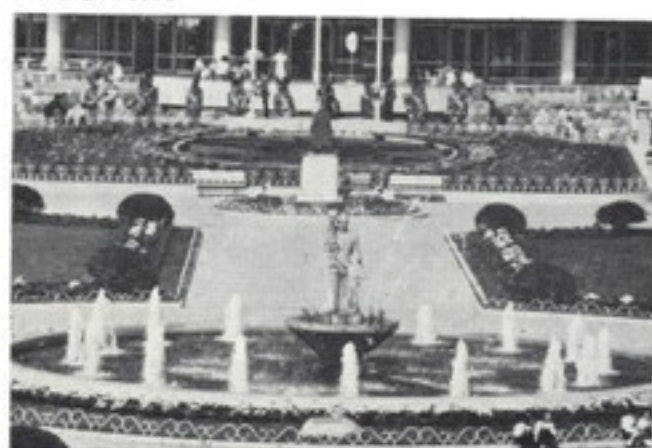


種類	レンズ名	画角	レンズ構成	絞り機構	絞り目盛	至近距離	フィルター	フード	重量
広角	ヘキサノンAR 21mm F4	90°	7群11枚	EE式完全自動	EE および 4-16	0.3m (1ft)			
"	ヘキサノンARP 28mm F3.5	73°	6群7枚	手動プリセット	3.5-22	0.3m (1ft)	58mm ねじ込み式	60mm かぶせ式	270gr
"	ヘキサノンAR 35mm F2.8	63°	5群6枚	EE式完全自動	EE および 2.8-16	0.3m (1ft)	55mm ねじ込み式	57mm かぶせ式	235gr
"	ヘキサノンARP 35mm F2.8	63°	5群6枚	手動プリセット	2.8-22	0.3m (1ft)	55mm ねじ込み式	57mm かぶせ式	235gr
標準	ヘキサノンAR 52mm F1.8	45°	5群6枚	EE式完全自動	EE および 1.8-16	0.45m (1.5ft)	55mm ねじ込み式	55mm ねじ込み式	210gr
"	ヘキサノンAR 57mm F1.4	42°	5群6枚	EE式完全自動	EE および 1.4-16	0.45m (1.5ft)	55mm ねじ込み式	55mm ねじ込み式	290gr
望遠	ヘキサノンAR 135mm F3.5	18°	4群4枚	EE式完全自動	EE および 3.5-16	1.5m (5ft)	55mm ねじ込み式	55mm ねじ込み式	370gr
"	ヘキサノンARP 135mm F3.5	18°	4群4枚	手動プリセット	3.5-22	1.5m (5ft)	55mm ねじ込み式	55mm ねじ込み式	370gr
"	ヘキサノンARP 200mm F3.5	12°	5群5枚	手動プリセット	3.5-22	2.5m (8ft)	67mm ねじ込み式	67mm ねじ込み式	870gr
"	ヘキサノンARM 400mm F4.5	6°	4群4枚	手動クリック	4.5-32	8m (25ft)	55mm ビハインド式	95mm ねじ込み式	2.7kgr
"	ヘキサノンARM 800mm F8	3°	1群2枚	手動クリック	8-45	20m (70ft)	55mm ビハインド式	引出式組込み	5.6kgr
反射望遠	レフレックスヘキサノンARM 1000mm F8	2.5°	6群7枚	NDフィルターによる 光量調節	8-22	30m (90ft)	55mm ビハインド式		
ズーム	ヘキサノンズームAR-H 47mm-100mm F3.5	35°-17°	8群13枚	EE式完全自動	EE および 3.5-16	2m (7ft)	52mm ねじ込み式	52mm ねじ込み式	450gr

135mm



200mm



400mm

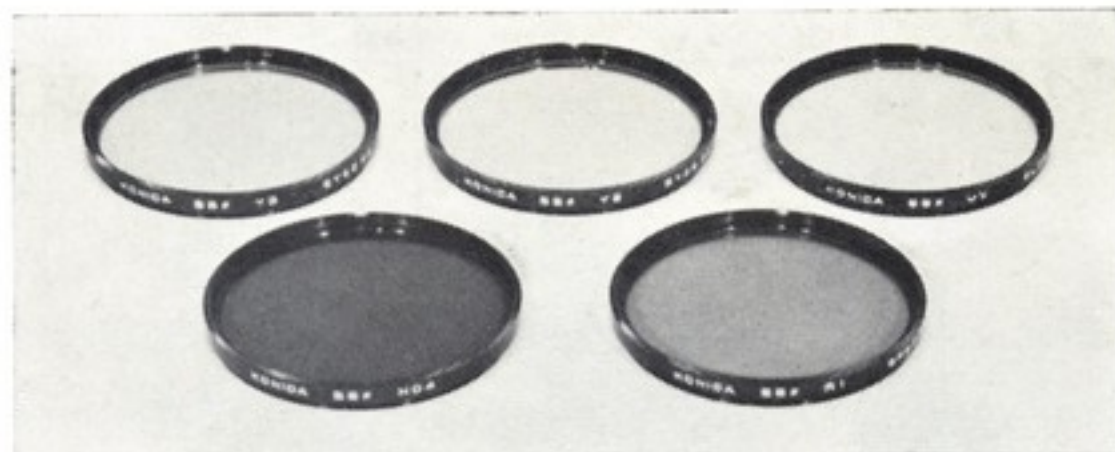


800mm



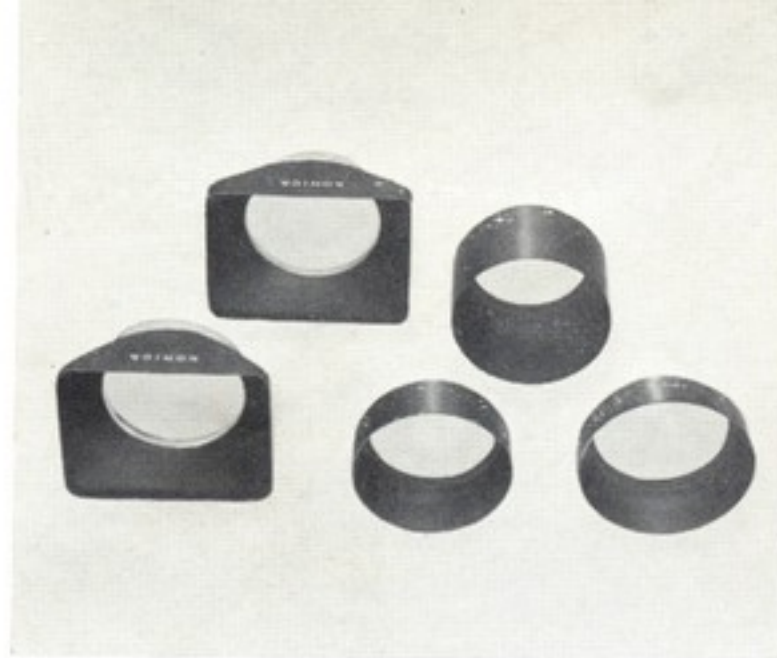
フィルター

白黒用、カラー用のフィルターが各種用意してあります。フィルターの使用によって撮影効果をいっそう上げてください。



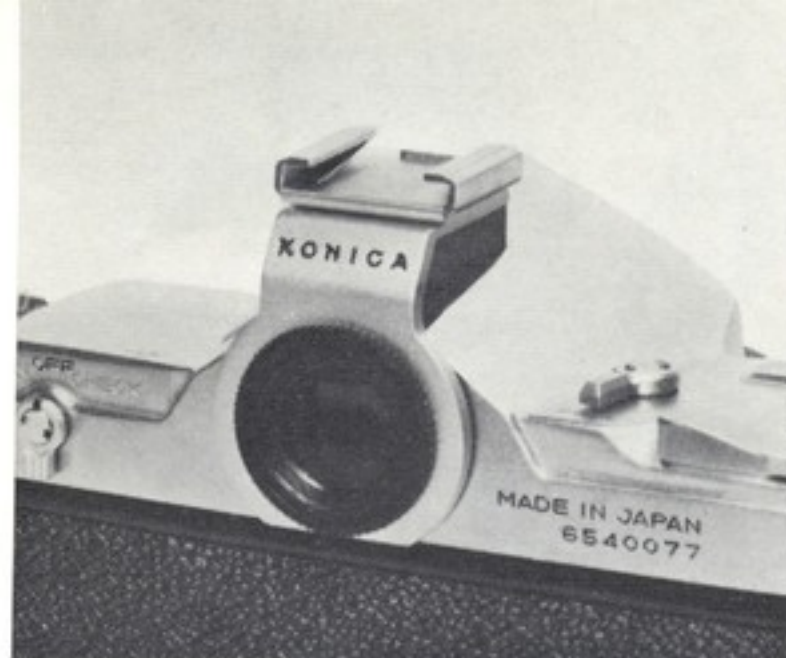
コニカフィルターの種類

フィルターの色	名 称	フィルターの効果
無 色	UV(L39)	紫外線だけを吸収し、各色光には無影響ですからカラーにも使えます。常用フィルターとしてレンズの保護にも役立ちます。
淡 黄 色 黄 色 濃 黄 色	Y1 (Y44) Y2 (Y48) Y3 (Y52)	紫外線と紫色、青色を吸収するので、風景、人物、スナップなどで明暗の適度なコントラストをつけ、立体感を出します。白黒用。
橙 色	O1 (O56)	吸収範囲が大きくなるので、コントラストが強くなり、山岳、遠景、建築物などに効果があります。白黒用。
赤 色	R1 (R60)	最もコントラストを強調し、場合によっては白昼の風景も夜景に近く描写できます。また赤外フィルムに使用します。白黒用。
黄 緑 色	PO ₀	フィルムの特性を肉眼に最も近づけるフィルターで、自然な色感の表現ができます。淡黄色フィルターと同じ性能も併せ持っているので、戸外のポートレートなどに最適です。
淡 灰 色 灰 色 濃 灰 色	ND2 ND4 ND8	色感には全然影響なく、光量だけ少なくするフィルターで、カラー、白黒ともに利用できます。ND2は1/2、ND4は1/4、ND8は1/8に光量を減じます。
淡いピンク	SKYLIGHT	UV同様、紫外線を吸収し、さらに青空を含む遠景や木陰などの陰影が青っぽくなるのを防ぎます。カラー用。
淡いアンバー	A2	日陰、曇天などで青っぽくなるのを防ぐデイライトタイプカラー用の色温度下降用。
淡いブルー	B2	朝日、夕日により赤っぽくなるのを防ぐデイライトタイプカラー用の色温度上昇用。
ブ ル ー	B8	フラッシュバルブ（クリアーバルブ）を使ってデイライトタイプカラーで写すとき、赤味を防ぐ色温度上昇用。
濃いブルー	B12	フトリフレクターランプ（3200°K程度）を使って、デイライトタイプカラーで写すとき、赤味を防ぐ色温度上昇用。



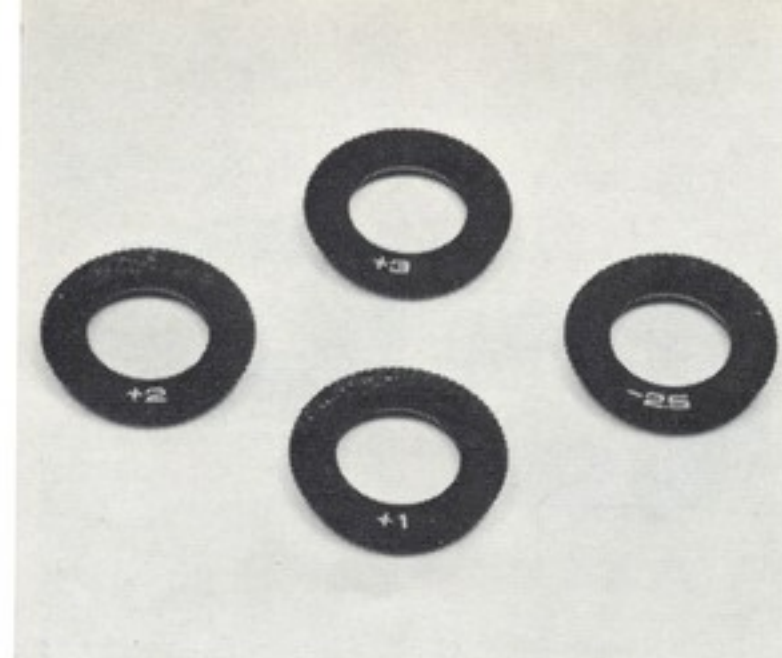
レンズフード

レンズフードは撮影光以外の不要な光線を防ぐために必要です。撮影のときは常にレンズフードをご使用になるようおすすめします。



アクセサリクリップ II

フラッシュガンや小型ストロボなどを使用したいとき、ファインダーアイピース部にアクセサリクリップを取りつけてご利用ください。



視度調整レンズ

遠視または近視の方は視度調整レンズをカメラのアイピース部に取付けますと、ファインダーがより見やすくなります。+3・+2・+1・-2.5ディオプターの四種類が用意してあります。



コニカレンズマウントアダプター

コニカFM、FP、FS用のレンズが使用できるアダプターです。

エキザクタレンズマウントアダプター II

エキザクタマウントの各交換レンズが使用できるアダプターです。

プラクチカレンズマウントアダプター II

プラクチカマウントの各交換レンズが使用できるアダプターです。

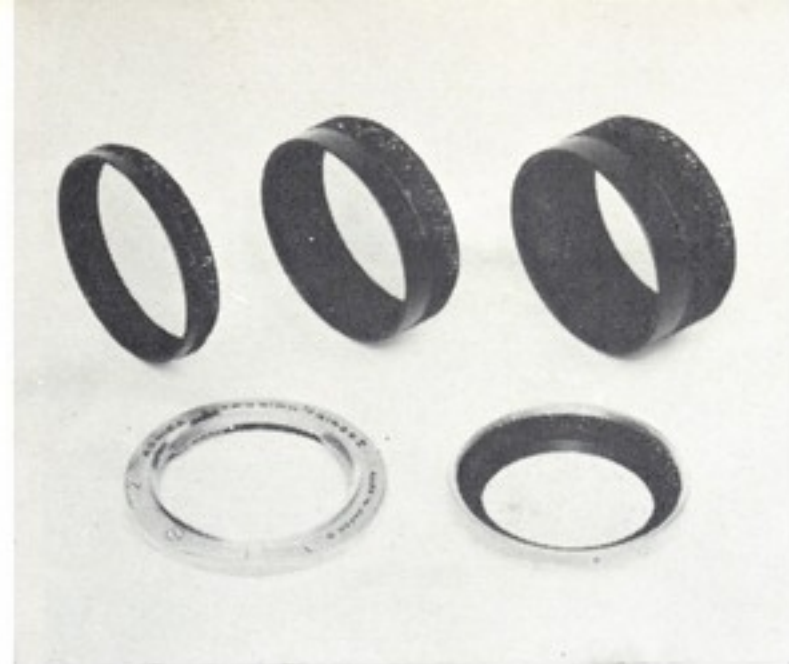


アタッチメントレンズII

レンズの前わくにねじ込んで取付けますと、完全自動絞り機構を働かしたまま接写ができます。

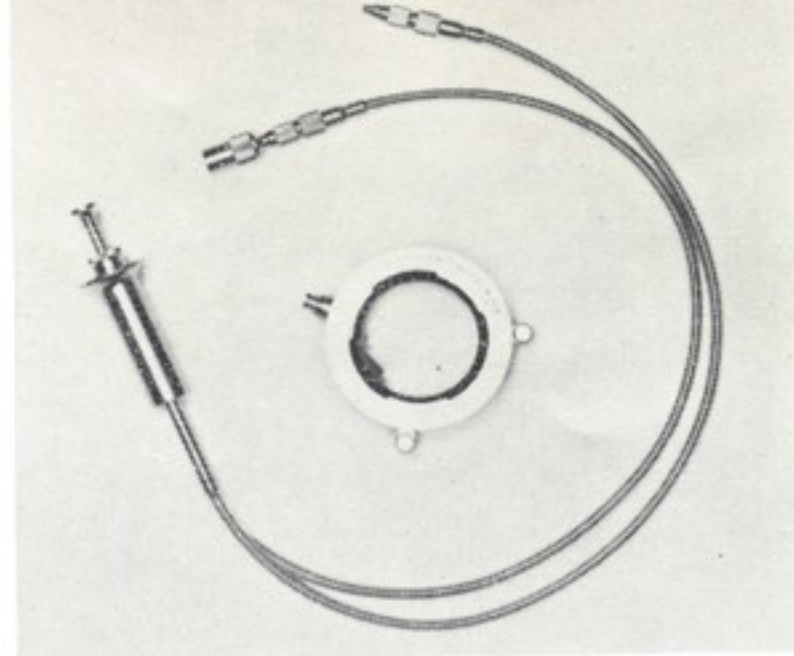
1号 64~32cm用

2号 36~26cm用



エクステンションリングII

カメラのボデーとレンズの間に取り付けて図書の複写や静物の接写に使用します。一組のベースリングと三つの中間リングの組合せ方によって実物大までの接写ができます。



コニカオートリング

エクステンションリング、エクステンションベローズを使用すると自動絞りは作動しませんが、コニカオートリングを併用すると半自動絞り機構として活用できます。

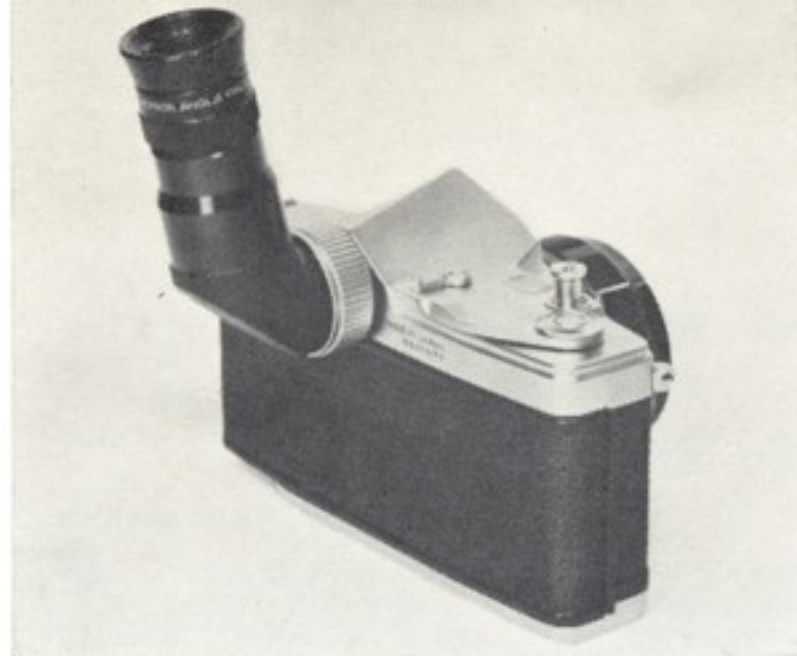


エクステンションベローズII

実物より大きい拡大撮影に便利な接写用蛇腹装置で伸縮が自由なので、被写体距離を連続的に変えたい接写、微小標本等の撮影に向きます。

エクステンションベローズIIDとスライドコピア

IIDはエクステンションベローズのデラックス型で二本のレールで蛇腹の伸びを大きくしたもので、更に広範囲の接写ができます。スライドコピアはベローズIIDと組合せてカラーフィルムやネガの複写をとるための装置です。



アングルフインダーII

アングルフインダーを使用しますと、ファインダーが上方より見られますから、低アングルの撮影、接写、複写あるいは顕微鏡撮影などの操作が非常にやり易くなります。



コニカミニフラッシュ

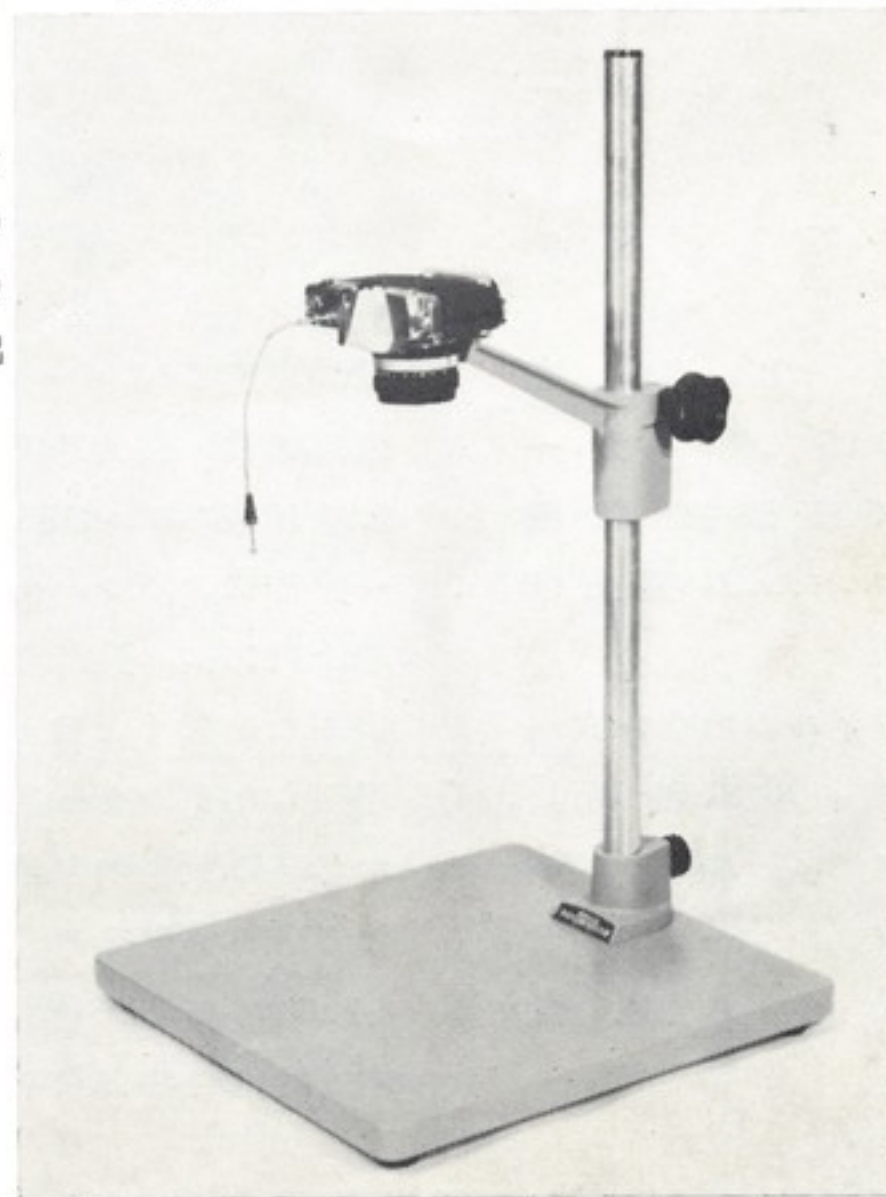
ベースレスバルブ専用の超小型フラッシュガンで、携帯時の保護カバーはフラッシュバルブの安全カバーに利用できます。一目で露出がわかるガイド表付。

マイクロ스코ープアダプターII

顕微鏡の対物レンズ、接眼レンズだけを用いて撮影するアダプターでカメラのファインダーで直接視野とピントを確かめ、被検物を観察しながら撮影ができます。

コピースタンド

カメラを支持台に取り付けて、約B4判以下の印刷物、写真、絵画などの複写が能率よくおこなえるスタンドです。小さい画面の複写にはエクステンションリング、またはアタッチメントレンズを併用します。



コニカオートレックスのおもな性能

- 画面サイズ : 24×36ミリ・18×24ミリ (ハーフサイズ) 切替え可能
- 使用フィルム : 35ミリフィルム (J135) パトローネ入り
- 標準レンズ : ヘキサノンF1.4 57ミリ5群6枚構成またはヘキサノンF1.8 52ミリ5群6枚構成
至近撮影距離0.45メートル (1.5フィート)
- マウント : バヨネット式コニカマウントII型 直径47ミリ フランジバック40.5ミリ
- 絞り機構 : 完全自動絞り (自動全開式) 被写界深度確認用マニュアル絞り装置付
- シャッター : コバルスクエア B・1~1/1000秒 倍数系列等間隔目盛 セルフタイマー内蔵 シンクロMX接点
M接点でM級全速度完全同調 X接点1~1/125秒でストロボ完全同調
- ファインダー : ペンタプリズム使用のアイレベルファインダー ピント合わせは中心部マイクロダイヤプリズム
による ファインダー内にハーフサイズ切替えによる視野マーク 視野内メーター
- 露出調節 : 超高感度CdSメーターによる完全EE機構 マニュアルの場合は絞り目盛直読式
- CdSメーター : 反射光式 受光角度上下26° 左右34° 電源に1.3V水銀電池使用 電源チェック装置付
- EE連動範囲 : ASA100においてEV2~EV18 フィルム感度目盛ASA12~800 (DIN12~30)
- フィルム巻上げ : 一操作によるレバー巻上げ式でフィルム巻上げシャッターチャージ ミラー 自動絞りリセット
巻上角190° 引出角10°
- フィルムカウンター : 裏ぶたを開くと自動的にスタートマークに戻るオートマチックフィルムカウンター
- フィルム巻戻し : 巻戻しボタンを一度押してクランクで巻戻す 巻戻しボタン自動復帰式
- フィルター : ねじ込み式 ねじ径55ミリ ピッチ0.75ミリ
- フード : ねじ込み式55ミリ
- 大きさ重量 : F1.8付 145.5(幅)×94.5(高さ)×88.5ミリ(厚さ) 910グラム
F1.4付 145.5(幅)×94.5(高さ)×89.5ミリ(厚さ) 990グラム

コニカカメラサービス・ステーション

東京	・ 東京都中央区日本橋室町 3-1	電話	東京 270-5311 大代表
大阪	・ 大阪市南区長堀橋筋 1-3	電話	大阪 271-0451 代表
福岡	・ 福岡市中呉服町 2 番街区 5 号	電話	福岡 28-0 3 9 2
名古屋	・ 名古屋市中区日ノ出町 2 2	電話	名古屋 231-6241 代表
札幌	・ 札幌市北一条西 1 4-4	電話	札幌 26-0261 ~ 5
広島	・ 広島市本川町 2-6-9 (和田ビル)	電話	広島 31-2187 ~ 8
仙台	・ 仙台市東三番丁 1 2 6 (菅原ビル)	電話	仙台 21-1651 ~ 3
金沢	・ 金沢市上堤町 1 6	電話	金沢 61-0783 ~ 4
高松	・ 高松市宮脇町 3 9 1	電話	高松 3-0041・8447

KONIPHOTO CORPORATION

257 Park Ave. South, New York, N.Y. 10010, U.S.A

KONICA EUROPE

c/o Deutsche Mitsubishi Export-Import GmbH.
Humburg 36, Neuer Wall 54, West Germany.

当社の製品は十分な品質管理のもとに製造されたものでありますが、万一故障あるいは不審の点がございましたら最寄りのサービスステーションにお問合せください。ご送付なさる場合は、元どおり箱に納め、厚さ 2 センチぐらいの衝撃防止になるパッキングで包み、段ボールまたは木箱に入れてお送りください。

M E M O

カメラ NO.

レンズ NO.

EE HALF HALF HALF HALF HALF HALF * FULL
* FULL FULL FULL FULL FULL FULL FULL
FULL FULL FULL FULL * HALF HALF HALF
EE HALF HALF HALF * FULL FULL FULL FULL *
EE FULL FULL FULL FULL FULL FULL FULL FULL
HALF HALF HALF HALF HALF HALF * FULL

KONICA

小西六写真工業株式会社

東京都中央区日本橋室町 3 - 1
電話 東京 270 - 5311 大代表